

幼児教育学科教育課程

(令和5年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に 必要な単位数			備考		
			必修	選択 (注1)		1 学 年		2 学 年		幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用			
						前期 必	後期 選	前期 必	後期 選						
教 養 科 目	日本国憲法	講	2		(彼谷)				2			2	2		
	国際情勢	講		2	(未定)						2			A	
	自然と人間	講		2	(岩坪)						2	1	1	B	
	現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員		1							C	
	現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員		1								
	国語表現	講	2		(奥野)			2				2	2		
	コミュニケーションと情報	講	2		吉牟田	2						2	2		
	人間と情報	講	2		春名	2									
	英語Ⅰ	演	1		望月 (ディヴィッド・ホースリー)			2				1	1		
	英語Ⅱ	演	1		山田 (シェリー・スキャンラン)				2			1	1		
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	山田										
	運動と健康	講	1		(大門)	1						2	1		
	健康スポーツ	実技	1		塩見	2							1		
基礎演習	演習	1		四杉(専任教員全員)	2										
計			13	8		9	2	4	0	4	0	0	4	11	11
専 門 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講	2		石動	2					2	2	2	
		教育原理	講	2		四杉	2					2	2	2	
		子ども家庭福祉	講	2		明柴	2					2	2	2	
		社会福祉	講	2		(村上)			2			2	2	2	
		保育者論	講	2		明柴・山田					2	2	2		
		子ども家庭支援論	講		2	石動						2		2	
		社会的養護Ⅰ	講	2		明柴			2			2	2		
	保育の対象の理解に関する科目	子どもと社会	講	1		四杉					1	1	1		
		保育の心理学	講	2		嶋野	2					2	2		
		子ども家庭支援の心理学	講	2		嶋野			2				2		
		子どもの保健	講	2		松居	2					2	2		
		子どもの健康と安全	演		1	松居			2				1		
		教育相談	演		1	嶋野					2	1	1		
		子どもの食と栄養Ⅰ	演	1		(大掛)	2					1	1		
	保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養Ⅱ	演		1	(大掛)			2			1	1		
		子どもの理解と援助	演		1	嶋野				2		1	1		
		教育課程論	講	2		石動			2			2	2		
		保育内容総論	演		1	日光				2		1	1		
		子どもと健康	演	1		塩見				2		1	1		
		保育内容(健康)指導法	演		1	塩見					2	1	1		
		子どもと人間関係	演	1		石動				2		1	1		
		子どもと環境	演	1		(谷内口)					2	1	1		
		子どもと言葉	演	1		日光			2			1	1		
		保育内容(言葉)指導法	演		1	日光				2		1	1		
		子どもと音楽表現	演	1		難波			2			1	1		
		保育内容(音楽表現)指導法	演		1	難波・(大村)				2		1	1		
		子どもと造形表現	演	1		中山			2			1	1		
保育内容(造形表現)指導法	演		1	中山				2		1	1				
子どもと遊び	演	1		中山・石動・日光 難波・塩見					2	1	1				
保育の内容・方法に関する科目	子育て支援	演		1	明柴					1		1			
	乳児保育Ⅰ	講		2	石動・松居	2						2			
	乳児保育Ⅱ	演		1	石動			2				1			
	特別支援論Ⅰ	演	1		明柴・(河崎)			2			1	1			
	特別支援論Ⅱ	演	1		嶋野・(北川)				2		1	1			
	社会的養護Ⅱ	演		1	明柴				2			1			
	教育方法論	講		2	四杉						2	2	2		

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数								資格取得に 必要な単位数			備考		
			必修	選択 (注1)		1 学 年				2 学 年				幼 免	保 育 士	主 任 任 用 社 会 福 祉			
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期						
						必 選	必 選	必 選	必 選	必 選	必 選	必 選	必 選						
専 門 科 目	保育 の 表 現 技 術	音楽表現技術Ⅰ	演	1	難波(大村・ 大林・玉井・櫻井)	2									1	1			
		音楽表現技術Ⅱ	演	1	難波(大村・ 大林・玉井・櫻井)			2							1	1			
		音楽表現特講	演		1	(大村・大林)							2						
		造形表現技術Ⅰ	演	1		中山	2								1	1			
		造形表現技術Ⅱ	演	1		中山						2			1	1			
		子どもの運動	演	1		塩見			2						1	1			
	保 育 実 習	教育実習Ⅰ	実		2	難波・石動・松居 嶋野・四杉		5※							2			※ 学内幼稚園実習	
		教育実習Ⅱ	実		2	嶋野・松居					※				2			※ 学外幼稚園実習	
		教育実習指導	実		1	専任教員全員					1	1	1					「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定	
		保育実習Ⅰ-1	実		2	日光・中山				※						2		※ 保育所実習	
		保育実習Ⅰ-2	実		2	明柴・塩見				※						2		※ 施設実習	
		保育実習指導Ⅰ	演		2	専任教員全員		2	2							2		「保育実習Ⅰ」終了後に認定	
		保育実習Ⅱ	実		2	中山・日光					※					2		D ※ 保育所実習	
		保育実習指導Ⅱ	演		1	中山・日光					2※					1		「保育実習Ⅱ」終了後に認定	
		保育実習Ⅲ	実		2	塩見・明柴					※					2		D ※ 施設実習	
保育実習指導Ⅲ		演		1	塩見・明柴					2※					1		「保育実習Ⅲ」終了後に認定		
総合演習	保育・教職実践演習	演		2	明柴・嶋野 四杉・日光							2	2	2					
総合演習	総合演習	演		2	専任教員全員					2	2	2	2				通年		
計			39	38		16	7	22	8	6	17	9	17	53	70	8			
総計			50	46		25	9	25	8	10	17	9	21	64	81	8			

〔注〕1. 上記教養科目のA, B, C, 3科目の中から1科目以上(計1科目1単位以上)を選択するものとする。

〔注〕2. 保育士資格取得希望者はD・D' いずれか1科目を履修すること。

〔注〕3. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第12条の6(外国の短期大学における授業科目の履修等)の規定は適用しない。

なお、学則第12条の3(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第12条の4(短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第12条の5(入学前の既修得単位の認定)及び第21条(転学)の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成15年12月9日雇児発第1209001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育者論			科目コード	C111-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	明柴 聡史 山田 尚平					
実務経験	保育士としての勤務経験を生かし、現状と課題や職業倫理、法令や制度について実践的な教育を行う。大阪府、富山県、東京都等の保育士等キャリアアップの講師として7年間(現在に至る)、実践者への研修を行っており、そのことを生かしたマネ								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 子ども家庭福祉 社会的養護			後継科目					
関連科目	(専門科目全般)								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	保育者の役割や専門性、職務内容等について、保育現場(幼稚園・保育所・施設・その他)の実践者等の講義も交えて学び、進路選択に役立てるとともに、めざす保育者像を探究する。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者の役割と倫理(職務・子どもや保護者との関わりなど)について理解する。 2. 保育者の制度的な位置づけ(資格・養成など)について理解する。 3. 保育者の専門性について考察し、理解する。 4. 保育者の協働(職場の人間関係など)について理解する。 								
キーワード	保育者 役割 倫理 制度 専門性 協働 専門職 成長								
テキスト・ 参考書等	(適宜、資料を配布します)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育者の役割と倫理、制度的な位置づけ、専門性、職務内容、協働、専門的成長等、保育者のあり方について理解している。								
LO-2	【技能】 保育者の専門性を分析し、必要な技能を理解し、自己課題とする力を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会のニーズを踏まえ、保育者としてのあり方や保育専門職の課題解決のための方策について、考察を深めることができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育者として成長し続けるために、自らを省察し、資質の向上に努めようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	15	15	20			100
LO-1			10						10
LO-2			10	5					15
LO-3			20	5					25
LO-4			5	5	5	10			25
LO-5			5		10	10			25
備考	<p>その他Aは平常点(授業参加態度及び適宜提出する小レポートの評価)</p> <p>評価の内容等について個別質問に対応する。</p> <p>学生が、授業前に各単元について予習をし、毎回の授業を反転授業とし、予習や事前学習、他の科目での学びを基にディスカッションを行う。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針・計画の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 保育者のあり方の基本について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 保育者のあり方の基本について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	「保育者の意義・役割・課題などについて(1)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について検討する（「保育者としての私」原稿検討のためのグループ討議）	
	【予習】「保育者としての私」の原稿下書きを作成する	30分
	【復習】保育者のあり方について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第3回	「保育者の意義・役割・課題などについて(2)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方についてまとめる（「保育者としての私」原稿の作成）	
	【予習】「保育者としての私」の原稿を清書する	30分
	【復習】保育者のあり方のグループでの検討結果、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第4回	「保育者の意義・役割・課題などについて(3)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「保育者としての私」発表）	
	【予習】「保育者としての私」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第5回	「保育者の意義・役割・課題などについて(4)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「保育者としての私」発表）	
	【予習】「保育者としての私」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第6回	「外国籍の子どもの現状と課題」 （外部講師予定） 外国籍の子どもの現状を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】外国籍の子どもを取り巻く現状について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】外国にルーツを持つ子どもの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第7回	「障がい児施設の現状と課題」 （外部講師予定） 障がい児施設の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】障がい児施設の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】障がい児施設の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第8回	「子どもを取り巻く環境の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】子どもを取り巻く環境について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】子どもを取り巻く環境の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分
第9回	「富山県の児童虐待の現状と課題」（外部講師予定） 県内の児童虐待や非行少年の現状を知り、地域福祉の課題を探索	
	【予習】児童相談所などの職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】児童相談所などの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第10回	「地域共生の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】地域共生について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】地域共生の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分

第11回	「子育て支援の現状と課題」 (外部講師予定)	
	【予習】子育て支援について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】子育て支援の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第12回	「保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題」	
	【予習】保育者の制度的位置づけについて、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第13回	「保育者の専門性と専門職的成長」	
	【予習】保育者の専門性について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の専門性と専門職的成長について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第14回	事例から学ぶ保育者像	
	【予習】これまでの実習で出会った事例を振り返る	30分
	【復習】各グループの事例と考察から、保育者としての最善の援助を考える	60分
第15回	「まとめ - めざす保育者像」	
	【予習】めざす保育者像を考えるために、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】授業全体を踏まえて、めざす保育者像について考察を深める	60分

授業科目名	子どもと社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	四杉 昭康						
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	教育原理、保育原理、子ども家庭福祉	後継科目							
関連科目	保育者論、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取りまく地域社会にかかる現代的な諸課題をとりあげ、理解を深める。そのために、子どもの人権・福祉に関する理念や法制度の基礎知識を得る。								
学習目標	保育者として、子どもや地域社会が抱える諸課題、地域社会との連携等について理解し、その協力の在り方を議論ができる。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	子どもの人権・福祉に関する理念や法制度の基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	子どもと地域社会にかかる課題を理解し、その解決策を具体的に提起することができる。								
LO-4	グループ活動における発言、資料収集等に積極的、かつ継続的におこなうことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	60			20			100
LO-1		20							20
LO-2									
LO-3			60						60
LO-4						20			20
LO-5									
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aはミニツツペーパーから評価する。 ・講義内でグループワークをおこなう。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを確認しておく	60分
	【復習】保育所・幼稚園の抱える課題を書き出し、まとめる	90分
第2回	学校をめぐる社会状況	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】保育所に関する制度と課題を整理しておく	90分
第3回	社会状況と子どもの生活	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】幼稚園と認定こども園に関する制度と課題を整理しておく	90分
第4回	近年の教育政策動向	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】保育・幼児教育に関わる今後の課題を整理する	90分
第5回	地域と連携した学校教育活動	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】保育・幼児教育に関わる今後の課題を整理する	90分
第6回	開かれた学校づくり	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】子どもをとりまく現代社会の問題を調べる	0分
第7回	事故・災害と学校安全	
	【予習】子どもをとりまく現代社会の問題を調べておく	90分
	【復習】子どもをとりまく現代社会の問題を踏まえて、保育・幼児教育にできることを考える	90分
第8回	安全管理と安全教育	
	【予習】最終レポートの構想を考えておく	90分
	【復習】最終レポートを執筆する	120分

授業科目名	子ども家庭支援論			科目コード	C113-30				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、7年間の付属みどり幼稚園園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会的養護		後継科目						
関連科目	社会福祉 子ども家庭福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解したうえで、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本知識を身につける。また、子育て支援体制や子育て家庭の現状を知り、ニーズに応じた多様な支援内容についての理解を深める。								
学習目標	子育て家庭を取り巻く社会状況を知り、保育所等による支援の必要性を理解する。 子育て家庭への支援における、基本的な視点や援助方法を習得する。 多様な子育て家庭のニーズに応えるための、具体的支援方法と関係機関との連携について理解する。								
キーワード	子育て支援 保育所等の特性を生かした支援 地域 社会資源 連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と子ども家庭支援』 石動瑞代 編(みらい) 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 家庭の機能や意義及び子育て家庭を支援する際の基本原理について理解し、説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育所・幼稚園等の特性を生かした家庭支援技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子育て家庭が抱える現代的課題をふまえて、必要な家庭支援について論理的に考察し、説明することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子育て家庭をめぐる社会資源についての確に把握し、子育て家庭に対する支援方法を具体的に検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 事例研究・グループワークを通して、自分の意見を他者にわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受容し、自己覚知や自らの意見形成に反映させることができる。また、子育て家庭における保護者の心情等を共感的に理								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	20								20
LO-2	10		20						30
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	アクティブラーニングの実施：グループワーク、事例研究等 その他Aは、アクティブラーニングへの参加態度や課題シートの提出状況とする。 課題に対しては、口頭及び紙面でコメントを行う。試験については、紙面で説明する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代の社会状況と家族の実態	
	【予習】現代社会における家族像について、自分の意見をまとめておく。	40分
	【復習】教科書第1章、2章の内容を読み、講義内容とあわせて、ノートにまとめる。	100分
第2回	子どもの発達と家族の発達 - 家庭支援の視点	
	【予習】教科書第3章～第5章の内容を読む。	50分
	【復習】講義内容と教科書の内容を関連づけて、ノートに整理する。	100分
第3回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育所の特性をいかす	
	【予習】教科書第9章の内容を、一読する。	40分
	【復習】保育所の特性をいかした援助技術についてまとめる。	120分
第4回	保育所等における家庭支援の実際 - 連絡帳のポイント	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 講義中に配布された課題プリントを仕上げる。	120分
第5回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育参加・懇談会・おたより	
	【予習】教科書第9章の該当部分を一読する。	40分
	【復習】課題プリント（おたより）を仕上げる。	120分
第6回	保育所における家庭支援の実際 - トラブルをめぐって	
	【予習】配布プリントを読んでおく。	40分
	【復習】家庭支援における「トラブル対処」と「発生予防」で重要なポイントを、ノートにまとめてくる。	100分
第7回	子どもの発達と地域社会のかかわり - 多様な子育て支援	
	【予習】自分が居住する地域の、子育て支援施策について調べる。 教科書第7章、第10章を読んでおく。	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	100分
第8回	親子支援活動の計画	
	【予習】あらかじめ親子活動の案を考えてくる。	80分
	【復習】グループで決めた親子活動案の詳細を検討する。 担当する役割を確認し、必要な準備をする。	150分
第9回	親子支援の実際 - 行事を通しての親子・地域支援	
	【予習】リハーサルを実施する。	60分
	【復習】行事における親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分
第10回	親子支援の実際 - 子育て支援センターでの親子活動	
	【予習】グループ内で、打ち合わせやリハーサルを行う。	80分
	【復習】子育て支援センター等での親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分

第11回	家庭支援の留意点 - 価値観・倫理観	
	【予習】配布プリントを参考に、自分の価値観・倫理観について考える。	40分
	【復習】事例の課題プリントを完成する。	100分
第12回	家族との個別面接における基本態度 - 基本的配慮事項	
	【予習】これまで学んだ面接技術について、確認しておく	60分
	【復習】個別面接の基本的態度をノートにまとめる。	100分
第13回	事例研究 児童虐待・障害が疑われる事例	
	【予習】事例の課題プリントを完成する。	60分
	【復習】特別な配慮を要する家庭への支援についてポイントをまとめる。	100分
第14回	事例研究 異文化の家族に対する援助事例	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	60分
	【復習】異文化の家族支援について、配慮のポイントをまとめる。	100分
第15回	保育士等が行う家庭支援のまとめ	
	【予習】これまで学んだ家庭支援の内容を整理する。	180分
	【復習】定期試験に向けて、学習する。	240分

授業科目名	教育相談			科目コード	C121-31				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	教育相談は、幼児、児童及び生徒の自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支える教育活動である。幼児、児童、生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切にとらえ、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識含む）を身につける。								
学習目標	1.保育教育相談の意義と理論を理解する。 2.保育教育相談の方法：教育相談を進める際に必要な基礎的知識と技法を理解し使えるようになる。 3.保育教育相談の展開：教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組や連携の必要性を理解する。								
キーワード	教育相談 保護者支援 カウンセリングマインド 相談技術 コミュニケーション技術 園内体制と連携 外部機関との連携								
テキスト・ 参考書等	教科書： 西本絹子（2018）「教師のための教育相談」萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕教育相談の意義や方法、心理学的な基礎知識などを理解している。								
LO-2	〔技能〕相談支援に必要な技術を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学んだ知識・技能、経験をもとに、人の話をよく聴き、自分の考えを伝える具体的な場面での応用ができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対する関心・意欲があり、自ら課題を見つけて学ぶ態度が見られる。								
LO-5	〔社会性・人間性〕グループワークや発表を、グループの仲間と協力し合い、積極的に行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20			60	20		100
LO-1						20			20
LO-2			10			20			30
LO-3			10			20			30
LO-4							10		10
LO-5							10		10
備考	その他 Aは毎授業最後に提出する振り返りシートの記述内容、表現、Bはグループワークへの参加態度、プレゼンテーションスキル、自分自身の意見表現等から評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 第1章：教育相談とは何か	
	【予習】シラバスに目を通し、半年間の学びを把握しておく。	15分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第2回	第2章：相談援助の理論	
	【予習】前回授業のスライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第3回	第3章：相談援助の技術1 カウンセリングマインドを活かす聴き方 非言語コミュニケーション	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	90分
第4回	第3章：相談援助の技術1 カウンセリングマインドを活かす聴き方 言語コミュニケーション	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第5回	第4章：相談援助の技術2 保護者との関係づくりと聴く技術 ロールプレイ	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第6回	相談援助の技術3 伝える技法：メッセージ、アサーショントレーニング 自分の考えを表明する	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第7回	相談援助の技術4 伝える技法：わかりやすく伝えるワーク 謎のマラソンランナー	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第8回	相談援助の技術5 伝える技法：わかりやすく伝えるワーク2 トシくんのおつかい	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第9回	第5章：子ども理解1 発達視点から理解する エピソード記述を読む p.119「ちょっと気になる子」	
	【予習】エピソード記述 p.119～読んでおく	30分
	【復習】授業スライドの復習	90分
第10回	第6章：子ども理解2 問題のアセスメント エピソード記述を読む p.203「集団行動が苦手なKくん」	
	【予習】エピソード記述 p.203～読んでおく	30分
	【復習】授業スライドの復習	90分

第11回	第7章：子ども理解3 問題行動のとらえ方 エピソード記述を読む p.221「木に登りたい」	
	【予習】エピソード記述 p.221～読んでおく	60分
	【復習】授業スライド復習	60分
第12回	第11章：特別な支援を要する子どもへの対応2 支援の実際の基礎 エピソード記述を読む p.211「高機能自閉症と診断されたAくんの関わり」	
	【予習】「エピソード記述 p.211～読んでおく	60分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第13回	第12章：障害のある子ども・気になる子どもの保護者への対応 ワーク12から考えよう	
	【予習】教科書第12章のワーク12を読んでおく エピソード記述 p.225～「僕の友達だから……」を読んでおく。	60分
	【復習】授業スライドの復習 エピソード記述 p.225～「僕の友達だから……」を読み返し、コメントを送信。 ちょうど12/20付のニュースがありました。自閉症の親子のニュースです。ぜひご覧ください。	60分
第14回	教育相談の展開：重篤事例で連携の重要性を理解する 野田市虐待死事件報告書を題材に 子どもの権利 4つの原則 厚労省 子ども虐待対応の手引き	
	【予習】野田市児童虐待死亡事例検証報告書（公開版）の以下のページを読んでから授業に出席すること。 p.1 p.3～5 p.57～63	60分
	【復習】 授業スライドを見直すこと	60分
第15回	災害後の子どもの心身の反応と保育者として知っておくべき初期対応	
	【予習】配布資料	30分
	【復習】1/24課題 野田市虐待死事件に関するミニレポート課題作成 期末レポート作成	60分

授業科目名	子どもの理解と援助			科目コード	C125-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 家庭支援	担当教員名	嶋野 珠生						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学	後継科目	教育相談						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子ども理解に基づく援助の意義について、発達の観点、環境と学びの観点、および保育者の基本的姿勢の観点から理解する。 また、子ども理解の方法として、観察、記録、家庭連携、保育者同士の情報共有の視点を学習し、理解を深める。 理解に基づく具体的援助については、さまざまな場面の事例を自分で、グループで多角的に検討することを通してその基本								
学習目標	1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義を理解する。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。								
キーワード	自己理解 他者理解 子ども理解 発達の観点 環境と学びの観点 共感的理解 観察 記録								
テキスト・ 参考書等	教科書 : 青木紀久代編(2022)「なぜ?から探る 子ども理解と援助」みらい 教科書 : 鯨岡峻(2013)「子どもの心の育ちをエピソードで描く」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 子ども理解についての基本的考え方、理解に基づく援助の意義や子ども理解の具体的方法、態度の基本を理解している。								
LO-2	〔技能〕 子ども理解に基づく援助に必要な基本的な技術、他者への共感的な態度を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕子どもの遊びや生活場面など実践的事例から、子ども理解に基づく具体的援助を考え、意見を表明し、実践してみることができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対して関心、意欲を持ち、自ら課題を見つけ行動し主体的に学ぶ姿勢を持つ。								
LO-5	〔社会性・人間性〕グループの仲間と協力し合い、グループディスカッション、ワーク、発表を積極的に行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20		20			60			100
LO-1	20								20
LO-2			10			20			30
LO-3			10			20			30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、毎授業後の振り返りの内容、グループワークへの参加態度およびプレゼンテーションのスキルから評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自己理解・他者理解ワーク（質問紙） 保育における子ども理解の意義と原理	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認 教科書 第1章 教科書 第1部第2章を読む。	15分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り 教科書指定箇所を読み復習する。 授業スライドの復習をする。	30分
第2回	自己理解・他者理解ワーク（エゴグラム） エゴグラム解説 共感的理解と子どもとの関わり	
	【予習】教科書 第2章を読む。 教科書 第2部第3章 p66 - 「0歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、 課題 WEBシラバスに貼った「エゴグラム解説」を読み、自分の「エゴグラム」の結果について気づいたことをWEBシラバスのアンケート（7）感想欄に記入して送信すること。メ切：授業の翌日まで	30分
第3回	自己理解・他者理解ワーク（自分を肯定的にリフレーム）リフレーミング授業スライド 子ども理解の視点：子どもの生活や遊び	
	【予習】教科書 第3章、教科書 第2部第3章 p66 - 「0歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、 提出課題：「リフレーム」のワークシート	30分
第4回	自己理解・他者理解ワーク（こんな絵かけちゃった） 子ども理解の視点：子どもの生活や遊び	
	【予習】教科書 第3章 教科書 p88 - 「1歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書エピソード記述を読み返し復習。	30分
第5回	自己理解・他者理解ワーク（私の言葉） 子ども理解の視点：心の発達と人的環境としての保育者	
	【予習】教科書 第4章51-60 教科書 p88 - 「1歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 を読み返し復習。	30分
第6回	他者の視点に立つワーク：「4人の体験」 子ども理解の視点：個と集団を大切にする保育の関わりー3歳未満児クラス	
	【予習】教科書 第5章を読む。教科書 p114 - 「2歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書を読み返し復習する。	30分
第7回	他者の視点に立つワーク：価値観ゲーム「何を大切にするか」 子ども理解の視点：個と集団を大切にする保育の関わりー3歳以上児クラス	
	【予習】教科書 第6章、教科書 p p140 - 「3歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 を読む。	30分
第8回	自己理解・他者理解ワーク「築城大作戦」 子ども理解の視点：発達における葛藤やつまずきと保育者の援助	
	【予習】教科書 第7章を読む。教科書 p140 - 「3歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 を読み返して復習。	30分
第9回	子どもの視点に立つワーク：ロールレタリング1 絵本「ちょっとだけ」 子ども理解の視点：保育環境の理解と構成	
	【予習】教科書 第8章を読む。教科書 p162 - 「4歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書 を読み返す。	30分
第10回	子どもの視点に立つワーク：ロールレタリング2 絵本「おこだでませんように」 子ども理解の方法：観察、記録、評価	
	【予習】教科書 第9章を読む。教科書 p188 - 「5歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書読み返し復習。	30分

第11回	他者を理解する（合同描画） 子ども理解の方法：職員間の対話	
	【予習】教科書 第10章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書を読み返す。	30分
第12回	子ども理解の方法：保護者との情報共有	
	【予習】教科書 第11章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書 読み返す。	30分
第13回	自己理解・他者理解ワーク（事後質問紙） 特別な配慮を要する子どもの理解と援助	
	【予習】教科書 第13章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書 読み返す。	30分
第14回	発達の課題に応じた援助と関わり NHKプロフェッショナル「野島千恵子の仕事」を視聴。感じたことを交流。	
	【予習】教科書 第12章を読む。	15分
	【復習】課題レポート：番組視聴後のまとめレポート	30分
第15回	発達の連続性と就学への支援	
	【予習】教科書 第14章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書を読み返す。	30分

授業科目名	教育方法論			科目コード	C131-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法	担当教員名	四杉 昭康						
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	教育課程論	後継科目	なし						
関連科目	教育原理、保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭 2 種免許、保育士資格								
授業の概要	教育方法 とくに幼児期 について解説するとともに、事例を取り上げて理解を深める。また、小学校の教育との接続についても考える。								
学習目標	1.教育の方法を活動の観点から理解する。 2.小学校教育との接続を考慮した指導について特徴を理解する。 3.自身の教育方法を改善していく営みを理解する。								
キーワード	幼稚園教育要領、保育所保育士指針、小学校学習指導要領、								
テキスト・ 参考書等	大豆生田啓友・渡邊英則編(2020)『保育方法・指導法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育方法についての基礎知識を獲得し、理解する								
LO-2	教育実践記録・ドキュメンテーション等の意義を理解したうえで、検討することができる								
LO-3	教育方法を用いるうえでの長短を理解したうえで、教育実践を構想することができる								
LO-4	自身の教育方法観を理解したうえで、それを捉え直すことができる								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	60			30			100
LO-1		10							10
LO-2						30			30
LO-3			10						10
LO-4			50						50
LO-5									
備考	その他Aは、講義内で実施するディスカッションの感想(ミニツツペーパー)による。講義ではグループ・ワークないしはディスカッションをおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを確認しておく。	90分
	【復習】教科書のワークをおこなう(レポート課題)。	90分
第2回	子ども理解にもとづいた保育方法と評価 教育方法・評価を理解する。	
	【予習】教科書のワークをレポートとして作成する。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第3回	子どもにふさわしい園生活と保育形態 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第4回	養護と教育が一体となった保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第5回	環境を通じた保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第6回	遊びを通じた保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第7回	個と集団を活かした保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第8回	発達に応じた保育の方法(1) 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第9回	発達に応じた保育の方法(2) 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第10回	気になる子どもへの関わり方(1)(実習編) 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分

第11回	気になる子どもへの関わり方(2)(実習編) 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第12回	家庭・地域と連携した保育 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第13回	小学校との接続のデザイン 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	配慮を要する子どもへの保育方法 事例を検討し教育・保育方法観を精査する。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第15回	教材や情報機器を活かした保育方法・まとめ 最終レポートの作成 レポート用紙 (対面授業の場合は授業で用紙を配付・回収。対面授業ができない場合、用紙をクリックして作成し、提出はこの回の課題1へ、ファイル名は「最終レポート・学籍番号・氏名」)	
	【予習】最終レポートの構想を練っておくこと。	90分
	【復習】これまでの授業のテーマを振り返って自身の保育方法の質向上を目指す。	90分

授業科目名	子どもと健康			科目コード	C133-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	塩見 一成						
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもの運動 体育講義 生涯スポーツ	後継科目	保育内容(健康)指導法						
関連科目	教育課程論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、健康な子どもの心身の発達と自ら健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育者の役割の基礎を学びます。								
学習目標	幼児期の身体機能の発達の特徴と生活習慣の形成過程を理解し、大人の関わりや環境構成の影響について説明できるようになる。集団援助の方法を学び、実践できるようになる。運動遊びのレパートリーを増やし、さまざまなプログラムを発達に応じて指導できるようになる。 遠隔授業においては、与えられた場所で可能な子どもの遊びを創作し、スキルアップを目指す。								
キーワード	健康 神経回路 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 食育 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：保育者を目指すあなたへ 子どもと健康 みらい 参考書：保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針及び幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい・内容について理解している。幼児期の運動遊びの大切さを理解し説明できる。								
LO-2	【技能】乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。模擬保育や実習時の事例の振り返りから実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	40		20				100
LO-1		20	20						40
LO-2		10			10				20
LO-3			10						10
LO-4		10			5				15
LO-5			10		5				15
備考	小テストは演習授業のため、授業内において技能テストとして行う。レポートはノートの提出の内容で評価する。成果発表は、授業内において 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営はプログラムの参加、協力と取り組み方をもって評価とする。グループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、模擬保育等についての説明）	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】模擬保育についてグループのメンバーを確認するとともにメンバーとの共同作業の時間を確認する。	30分
第2回	健康とはなにかをWHOの定義やウエルネス、SDGSなどの観点をもとに考える。	
	【予習】テキスト第1章を読む。（保育所保育指針第3章、幼稚園教育要領第2章） 準備する物があるので用意する。	15分
	【復習】様々な健康についての定義を考え自分なりの健康観を考える。領域「健康」はどのような保育内容を含んでいる領域なのか、具体的に考える。	30分
第3回	発育と発達について	
	【予習】テキスト第2章を読む。	15分
	【復習】からだの健康について、整理する。発育発達についてまとめてノートに記述しておくこと。 年齢に応じた運動遊びのプログラムを考える。	30分
第4回	発達について 神経系の発達及び感覚器の発達について	
	【予習】子どもの発育発達について予習する。	15分
	【復習】子どもにとっての遊び、中でも運動遊びの重要性を理解して整理する。	30分
第5回	幼児期運動指針について及び指導計画について	
	【予習】60分間の指導計画を個別に作成する。	15分
	【復習】保育実践に向けた保育計画を再構築する。	30分
第6回	子どもを取り巻く環境の現状と健康課題	
	【予習】テキストP.36～48、P.166～170を読んでおく。	15分
	【復習】第1回から第6回までの内容をノートに整理する。	30分
第7回	子どもの事故防止と安全管理	
	【予習】第6回までの内容を整理する。P.179～183を読んでおく。	30分
	【復習】保育現場で起こりやすい事故についてノートに整理する。	15分
第8回	模擬保育の実践 子ども役と保育者役に分かれて模擬保育を行う で保育者役の場合は で子ども役となる	
	【予習】指導計画の作成と模擬保育の準備をする。	15分
	【復習】模擬保育の振り返りをノートへ記述する。	30分
第9回	模擬保育の実践 子ども役と保育者役に分かれて模擬保育を行う で保育者役の場合は で子ども役となる	
	【予習】指導計画の作成と模擬保育の準備をする。	15分
	【復習】模擬保育の振り返りをノートへ記述する。	30分
第10回	運動遊びと保育者の役割 気温が高い時の運動について（5人以下の小集団の場合）	
	【予習】教科書P.36～48、P.158～159を読んでおく。	15分
	【復習】自身の体験を振り返り、ノートへ記述する。	30分

第11回	子どもの事故防止と安全管理 子どもの健康課題	
	【予習】教科書P.150～152を読んでおく。	15分
	【復習】本時を振り返り、溺水についてまとめてノートに記述する。	30分
第12回	子どもの健康課題 遅寝が与える子どもへの影響 生活リズムの向上を目指して	
	【予習】教科書P.49～53、P.85～89を読んでおく。	15分
	【復習】サーカディアンリズムや睡眠についてまとめ、ノートに記述する。	30分
第13回	運動あそびと保育者の役割 気温が高い時の運動について (10名以上の大集団の場合)	
	【予習】集団の人数が多い時の指導法について調べておく。 大集団で安全に実施できる運動について調べておく。	15分
	【復習】予想していた内容と実際の内容について、比較検討してノートにまとめる。	30分
第14回	保育現場における身近な遊び教材を使った援助方法について	
	【予習】子どもがやりたくなる運動遊びについての環境設定を考える。	15分
	【復習】あそびの援助方法について、本日の内容をノートに記述する。	30分
第15回	まとめ 現代の子どもの健康に関わる課題について (援助及び環境構成の在り方について)	
	【予習】前期の授業を振り返り、「健康」と保育者の役割についてまとめる。	15分
	【復習】ノートとレポートを提出する。	30分

授業科目名	保育内容（健康）指導法			科目コード	C133-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	塩見 一成						
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと健康	後継科目	なし						
関連科目	教育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	乳幼児期の子どもの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力」および、「遊びや生活を通して育む保育のあり方」について考えます。運動遊びの模擬保育を実践したり、幼児の生活習慣の形成に役立つ教材について研究するなど、具体的な場面を設定しながら必要な環境の構成や援助等の学びを深めたい。伝承遊びの方法などを演習する。								
学習目標	現代の子どもを取り巻く生活環境の実態や乳幼児期の子どもの発達過程を理解し、それをふまえた運動遊びの指導や生活習慣形成のための環境構成や援助の方法などの実践力を身に付けます。また運動会の企画・立案・運営を通して保育の実践力を身に付けます。さらに伝承遊びの実技ができるようになる。								
キーワード	健康 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 食育 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：近藤幹生監修徳安敦編著 「生活事例からはじめる保育内容健康」青踏社 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期の運動遊びの大切さ運動会の在り方を理解し自分なりの運動遊びの考えを伝えることができる。								
LO-2	【技能】 乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。伝承遊びについて実技を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。運動会の実践や模擬保育などの実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	10		30	30			100
LO-1		20							20
LO-2			10		20				30
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						20			20
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツッパーパーでの内容について授業中にコメントを行う。その他：A LO-4 ミニツッパーパーによる関心度から考慮する。LO-5 授業態度(グループへの関与)と企画・立案・運営への参加度とする。グループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、運動会等についての説明）、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】運動会の役割について確認する。	30分
第2回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（1）	
	【予習】さまざまな鬼ごっこについて調べる。伝承遊びの技を調べる。	15分
	【復習】鬼ごっこの進め方と方法を整理する。伝承遊びの技を反復練習し、できるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第3回	ボール運動について・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（2）	
	【予習】子どもの運動機能の発達について調べる(ボール運動)。伝承遊びの反復練習をする。	15分
	【復習】ボール運動について整理する。伝承遊びの技を反復練習し、できるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第4回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（3）	
	【予習】運動会の役割の確認と運営についてグループで確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習してできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第5回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(4)	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認する。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習してできるようになる。担当する運動種目の実施にあたり、必要なものを製作・準備する。	30分
第6回	マット運動あそびについて。運動会の実践と保育者の役割（5）プログラム進行の確認、準備	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認する。	15分
	【復習】マット運動あそびの補助方法、遊びの種類を整理しておく。担当する運動種目の実施にあたり、改善点に対応し、必要なものを準備する。	30分
第7回	跳び箱運動遊び・運動会の実践と保育者の役割（6）	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認する。	15分
	【復習】跳び箱運動遊びの補助方法および内容を整理しておく。運動会の準備をする。	30分
第8回	運動会の実践	
	【予習】運動会の意義とあり方について自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】実践した後の反省感想をレポートにまとめる。	30分
第9回	運動遊びの教材研究と企画・運営 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考えて準備する。	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	30分
第10回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考えて準備する。	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分

第11回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考えて準備しておく。	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分
第12回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考えて準備する。	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分
第13回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具（小さな物）を使った遊びを2種類以上考えて準備しておく。	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	30分
第14回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具（大きな物）を使った遊びを2種類以上考えて準備する。	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】乳幼児が「健康」であるために体を動かして遊ぶことや、基本的な生活習慣を身につけることの必要性について、考えをまとめる。	15分
	【復習】子どもに寄り添い、共感し、守り、育てることについて、まとめて整理する。自分が考える「子どもの健康」について、ノートに記述する。	30分

授業科目名	子どもと人間関係			科目コード	C133-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	教育課程論 保育内容総論	後継科目	なし						
関連科目	子どもと健康 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	現代の乳幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に、領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論を学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。								
学習目標	<p>幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。</p> <p>乳幼児期における「人とかかわる力」の発達を、関係論的視点で理解する。</p> <p>保育の特性を生かして、乳幼児期の「人と関わる力」を育む視点について理解する。</p>								
キーワード	人とかかわる力 共感性 個と集団 自立心 道徳性 規範意識 協同性 遊び 保育者の役割								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：『保育内容「人間関係」と指導法』（中央法規）、その他適宜プリントを配布。</p> <p>参考図書：『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）、『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の人とかかわる力の発達を理解し、筆記試験で正しく回答できる。								
LO-2	【技能】 保育場面における子どもの経験と幼児教育において育みたい資質・能力を関連づけて理解することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会の状況と幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」の内容を、関連づけて考えることができる。保育事例を的確に読みとり、保育者の支援内容や方法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 人とかかわる力の育ちについて、自らの生活や乳幼児期の保育内容・方法と関連づけながら、具体的に考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 様々な事例を通して、子どもの思いを尊重し、信頼関係の構築に努めることの重要性を理解し、自らの対人態度の基盤とする。グループワークに積極的に参加し、自らの意見をわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	<p>その他 A は、授業（グループワークやディスカッション等）における態度や課題シートの提出状況とする。</p> <p>提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。テストについては、紙面等で説明する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自らの人とのかかわりを見つめる	
	【予習】シラバスに目を通す	15分
	【復習】本日の講義内容を資料で確認する 資料	30分
第2回	現代における人間関係の特徴を捉え、人とかかわる力の育ちについて考える	
	【予習】現代における人間関係の特徴を、3～5個のキーワードで考える。	15分
	【復習】現代社会の人間関係とその背景をまとめる。 現代社会の中で「人とかかわる力」を育むにはどうしたらよいかを文章にまとめる。	40分
第3回	領域「人間関係」の変遷を知り、乳幼児に必要とされる保育内容について理解する。	
	【予習】領域「人間関係」の内容を読んでおく。	10分
	【復習】各時期の領域「人間関係」の中で、特に強調している事項について、その時期の社会状況と関連付けて整理する。	30分
第4回	乳児期における人とのかかわり 共感性の発達、集団保育の視点で考える。 領域人間関係の変遷に関するスライド	
	【予習】保育所保育指針の保育課程によって人間関係の育ちの道筋を確認する。	10分
	【復習】講義やテキストの内容を参考に、課題シートをしあげておく。 課題 5月9日（木）までに回答しておくこと！	25分
第5回	幼児期における人とのかかわり 仲間入り・いざご 幼児期における友達とのかかわりの発達過程を理解する。	
	【予習】配付プリントを再読する。 これまれの実習体験から、いざごに関わった経験をまとめておく。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 仲間入り・いざごの発達の意味をまとめる。	30分
第6回	幼児期における人とのかかわり 規範意識・協同性	
	【予習】事前課題について、要点をまとめてくる。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 幼児期の規範意識・協同性の発達過程を知る。	30分
第7回	遊びの中で育つ人とのかかわり 遊びを通して育まれる人との関わりの姿を捉え、援助の方法を考える。	
	【予習】テキスト第3章を読んでおく。 配布資料の課題を考えておく。	15分
	【復習】資料の内容を確認し、十分に理解できないところは、次回の質問事項としてまとめておく。	30分
第8回	人とのかかわりを育てる保育の実践 かかわりをつくる【模擬保育】	
	【予習】人とのかかわりをつくる“遊び”を考え、指導計画を作成してくる。	15分
	【復習】人とのかかわりをつくる“遊び”の内容と配慮点を、ノートにまとめる。	30分
第9回	人とのかかわりを育てる保育の実践 個と集団をいかに【模擬保育】	
	【予習】保育所保育指針等の中で、個と集団の関係について述べられている部分をさがし、ノートに書きだす。 集団での活動計画に、個人への配慮の記載を加える。	15分
	【復習】模擬保育についての感想を書く。	30分
第10回	人とのかかわりを育てる保育の実践 地域との交流、行事とおして	
	【予習】地域交流や行事が、人とかかわる力にどのように影響しているのかを考え、文章にまとめておく。 人とかかわる力の発達と保育との関連を考えたいうえでの、疑問点をあげる。	15分
	【復習】課題シートを完成させる。	30分

第11回	人とかかわりを育てる保育者の役割	
	【予習】実習事例をもとに、人とかかわりを育てる保育者の役割を自分なりにあげてみる。 テキスト第3章の4, 6を読む。	15分
	【復習】授業の中で確認した保育者の役割を、実習中のエピソードと関連づけて、課題シートを完成する。	30分
第12回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（実習における事例をもとに話し合う）	
	【予習】実習の中で出会った人とかかわりが難しい子のエピソードメモをつくる。 テキスト第3章の7 を読んでおく。	15分
	【復習】グループで分担し、発表資料をつくる。	30分
第13回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（事例での学びを発表する）	
	【予習】発表の準備をする。	15分
	【復習】様々なテーマの中で、1～2個のテーマにしぼり、発表内容から学んだことをまとめる。	30分
第14回	職場における保育者の人間関係	
	【予習】 配布資料の課題を考えておく。	15分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 課題シートを完成させる。	30分
第15回	乳幼児期の人とかかわりを育む保育内容（まとめ）	
	【予習】これまでのノートを整理し、テキストと関連付けながら読んでおく。	15分
	【復習】これまでの学びをふりかえり、課題レポートの作成を行う。	30分

授業科目名	子どもと環境			科目コード	C133-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	谷内口 まゆみ					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論		後継科目	なし					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	子どもは「もの・ひと・こと」との関わりを通じて成長・発達する。子どもがどのように環境に関わっているのかを学び、その関わりが領域「環境」に示された経験となるためにはどのような環境の構成と援助が必要であるかを考察する。授業においては、直接体験することを重視して学びを深められるように進める。また、教材研究を通じて保育実践力を習得できるようにする。								
学習目標	子どもと環境との関わりと子どもの育ちについて理解する。 子どもが周囲の環境に自ら関わるために必要な保育者の援助と保育の方法について習得する。								
キーワード	領域「環境」 身近な自然 身近な「もの・ひと・こと」 フィールドワーク グループワーク								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針と幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について、用語を理解している								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において子どもが自ら環境に働きかけられるような保育環境を構成し、保育を展開する技術を習得している								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもが育つために必要な環境について論理的に考察し、保育者の具体的な役割を理解している								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの育ちと子どもを取り巻く環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努める								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30	30	20	10	10		100
LO-1			30						30
LO-2				30					30
LO-3					20				20
LO-4						10			10
LO-5							10		10
備考	その他：A「活動、調査への取り組み姿勢」B「グループワークへの取り組み姿勢」 ・屋外でのフィールドワークを取り入れた授業を予定しています。(体調を整え、服装など適切なものを準備すること)また、草花図鑑やおもちゃ作り等の活動を通しての成果を、プレゼンテーションで発表し合ったり、それらを基にディスカッションしたりします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価の仕方等について）、幼児教育の重要性	
	【予習】 シラバスを読み、授業内容を把握する。	15分
	【復習】 ワークやレポートの取り組み方、課題の提出方法等について再度確認する。	30分
第2回	○子どもの育ちと領域「環境」 ・子どもが育つために必要な環境とは何か、子どもにとって環境とはどのような意味をもつか ・育みたい資質・能力や幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と領域「環境」との関連	
	【予習】 テキストの関連部分を読む。	0分
	【復習】 授業内容を基にワークシートを完成させる。	45分
第3回	○草花遊びの実践 ・ワークシートを基に、草花を探して遊ぶ。どのような活動ができるのかを考え体験する。 ・活動を紹介し合う。	
	【予習】	0分
	【復習】 草花遊びを振り返り、ワークシートを完成させる。	45分
第4回	草花遊びの実践 ・活動を紹介し合う 身近な植物の豆知識「有毒植物」	
	【予習】	0分
	【復習】 参考になったことをまとめ、ワークシートを完成させる。	45分
第5回	○領域「環境」のねらいと内容 草花図鑑作りについて	
	【予習】 草花遊びを調べる。	20分
	【復習】 草花遊び図鑑作りを進める。	60分
第6回	○環境への豊かな関わりを援助する保育者の役割 ・環境構成と関わり方について（写真やビデオ視聴）話し合う。	
	【予習】 テキストの関連部分を読む。	0分
	【復習】 話し合ったことを振り返り、ワークシートを完成させる。 草花遊び図鑑作りを進める。	45分
第7回	学園の周りにある草花遊び（草花遊び図鑑づくり）	
	【予習】 図鑑の構成を考える。	0分
	【復習】 草花遊び図鑑作りを進める。	45分
第8回	住んでいる地域や学園の周りにある草花遊び（草花図鑑づくり）	
	【予習】 図鑑の構成を考える。	45分
	【復習】 草花遊び図鑑作りを進める。	45分
第9回	ネイチャーゲームの実践	
	【予習】	0分
	【復習】 ネイチャーゲームで経験したことを草花図鑑に反映させる。	60分
第10回	草花図鑑の発表 グループや全体でシェアし合う。	
	【予習】 草花図鑑を完成しておく。	0分
	【復習】 作成した草花図鑑に対するコメント（参考になったこと、自分が取り入れたいこと等）を整理する。	30分

第11回	環境構成の工夫を知る。 ・環境構成の工夫がされている場面から保育者の意図を読み取る。	
	【予習】 環境構成の工夫が見られる場面の写真を選択する。	15分
	【復習】 環境構成の工夫を整理する。	30分
第12回	子どもの好奇心を引き出す遊ぶ道具を作製する。	
	【予習】 おもちゃ作りに必要な材料を用意する。	30分
	【復習】 おもちゃ作りを進める。	60分
第13回	好奇心を引き出す遊び道具を紹介し合う。 ・心身の発達とおもちゃを関連づけて紹介する。	
	【予習】 発表の準備をする。	60分
	【復習】 色々な手づくりおもちゃについて紹介し合った感想をまとめる。	60分
第14回	ユニバーサルデザインの環境づくり、安心・安全な環境づくりや小学校との接続について事例を通じて考える。	
	【予習】 講義ファイルに目次を付ける。	30分
	【復習】 授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	10分
第15回	保育をめぐる現代的課題（SDGs等）と領域「環境」 幼児と環境の振り返りとまとめ	
	【予習】 保育の課題について考える。	30分
	【復習】 配布されたプリント、授業ノート等を読み返し、授業を振り返りながらポイントを押さえ、レポートにまとめる。	60分

授業科目名	保育内容（言葉）指導法			科目コード	C133-51				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	日光 恵利					
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと言葉		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらいと内容について実践的に理解する。園生活における子どもの言葉に関わる様々な事例を用いて、子どもの生活や遊びが言葉の発達にどのように影響するかについて理解する。また、子どもの言葉の発達過程を理解し、将来の保育者として、豊かな言葉を育むための環境構成や援助について学ぶ。さらに、教材研究・指導案の作成と模擬保育を通じて、保育の実践力を身に付								
学習目標	領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験していく内容と指導上の留意点を理解する。乳幼児が発達過程に合った言葉の経験ができるよう、児童文化財の活用や遊びを展開する技術と援助方法を身に付ける。教材研究、指導案の作成、模擬保育の実践、振り返りを通して保育を改善する視点を身に付ける。								
キーワード	伝え合う言葉 言葉遊び 児童文化財 模擬保育 保育者の言葉かけ								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、発達過程に即して具体化できる。								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において乳幼児が豊かな言葉の経験ができるような、保育構想力と展開技術を習得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの姿と発達過程を踏まえて教材を選び、柔軟で多様な展開を工夫し、的確な考察ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】教材研究、指導案作成、模擬保育等に意欲的に取り組み、自らの課題を明確にしながら保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】他者の意見を聞くとともに自分の意見も的確に伝え、学び合う関係を構築する。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	20		15	30	15		100
LO-1		20				10			30
LO-2					15	10			25
LO-3			20			10	5		35
LO-4							5		5
LO-5							5		5
備考	その他A：指導案 B:模擬保育の取り組みと振り返り アクティブラーニングの実施：グループワーク等 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価の仕方等についての説明） 領域「言葉」のねらいと内容（1）乳児期	
	【予習】シラバスを読み、授業で扱う事項を確認する。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	領域「言葉」のねらいと内容（2）1歳以上3歳未満児 3歳以上児	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	○伝え合う言葉（1） 事例から子どもたちが言葉で伝え合う過程について考える。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	伝え合う言葉（2） 保育場面における話し合いとそれを支える環境構成について学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	【小テスト】 パネルシアターから広がる遊びの展開（1） 演じ方の基本	
	【予習】	0分
	【復習】小テストで理解が不十分であったところを見直し、理解を深める。 パネルシアターを作成する。	180分
第6回	パネルシアターから広がる遊びの展開（2） 教材研究 遊びの展開	
	【予習】作成したパネルシアターについてどのように展開するか考えておく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	言葉や標識・記号・文字等を使った遊びの教材研究	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第8回	領域「言葉」に焦点をあてた指導案の作成	
	【予習】模擬保育で取り組む活動を考える。	30分
	【復習】指導案を完成する。	60分
第9回	模擬保育（1）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、改善策を具体的に明らかにする。	60分
第10回	模擬保育（2）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、改善策を具体的に明らかにする。	60分

第11回	保育者の言葉かけ（1） 保育実習時のエピソード記述を作成する。	
	【予習】実習日誌を読み返し、エピソードを複数選んでおく。	30分
	【復習】エピソード記述を完成させる。	45分
第12回	保育者の言葉かけ（2） エピソード記述を発表し合い、子どもの言葉、保育者の言葉かけ、やり取りを視点に検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】仲間からのコメントを整理し、考察を深める。	30分
第13回	文字との出会いと保育環境 子どもと文字との関わりの実際を知り、文字環境を構成する基本的視点を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第14回	乳児保育における言葉を育む保育実践	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第15回	【確認テスト】 1歳以上3歳未満児の保育における言葉を育む保育実践	
	【予習】確認テストの準備をする。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分

授業科目名	保育内容（音楽表現）指導法			科目コード	C133-61				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子 大村 禎子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子どもと音楽表現、音楽表現技術	後継科目	なし						
関連科目	保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	乳幼児期に育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらい及び内容について表現と関連させて理解を深め、幼児の発達に即し、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な保育の展開方法について学ぶ。								
学習目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。								
キーワード	子どもの表現								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					10				10
LO-3					20				20
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	「アクティブラーニングの実施：グループワーク等」								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の表現の姿と関連づけて理解する。	
	【予習】領域「表現」のねらい及び内容について、保育所保育指針を読んでおく。	30分
	【復習】領域「表現」のねらい及び内容について、保育所保育指針を読み返す。	30分
第2回	幼児の発達や学びの過程を理解し、表現活動において育みたい資質・能力について具体的に考える。	
	【予習】幼児の発達や学びの過程について、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読んでおく。	60分
	【復習】幼児の発達や学びの過程について、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読み返す。	60分
第3回	表現活動と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的に関連づけることを通し、幼児の表現における評価の考え方を理解する。	
	【予習】『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の部分を読んでおく。	30分
	【復習】『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の部分を読み返す。	30分
第4回	事例や映像から幼児の心情・認識・思考及び動き等を考察し、幼児が経験し身に付けていく表現の内容と指導上の留意点を理解する。	
	【予習】これまで実習先で出会った子どもたちの姿を思い出すために、自分の実習記録を振り返り返しておく。	60分
	【復習】今回紹介した、テキストp.40-43の3つの事例と動画から、幼児の心情・認識・思考・動きを考察する。	30分
第5回	インクルーシブ保育における表現活動の可能性について、具体的な事例を通して理解し、保育構想への活用を考える。	
	【予習】インクルーシブ保育の意味について調べておく。	60分
	【復習】インクルーシブをめざした音楽表現活動を、3・4・5歳児合同の縦割り保育で実施するとしたら、どのような楽器や曲を使って実践しますか。15分から20分程度の活動で保育を構想してみましょう。	30分
第6回	指導案作成の構造を理解し、音楽的なねらいについて具体的に考えるとともに、様々な教材研究を行う。モデル指導案の紹介。	
	【予習】音楽表現に関する指導案の構想を練る。	60分
	【復習】指導案に関するテキストを読み返し、ねらいと内容の構造について復習しておく。 本日配付した指導案の提出締め切り 6月21日（金）17:00 難波研究室前のBOX	60分
第7回	保育実践研究の論文や国内外における音楽メソッドを参照し、音楽表現における保育実践の動向についての知見を深め、保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】保育における音楽の世界三大メソッドについて、インターネットやテキストで調べておく。	60分
	【復習】音楽メソッドについてまとめておく。	30分
第8回	リトミック1回目を体験し、保育実践をイメージした上で、保育者の援助について考える。	
	【予習】リトミックとは何かについて、理解しておく。	20分
	【復習】拍子やそれぞれの音符の長さなど、楽典についてテキストで復習しておく。	30分
第9回	「音楽表現活動」に関する指導案を作成する。	
	【予習】部分実習で行う活動案を考えておく。	20分
	【復習】	30分
第10回	< 模擬保育week > 3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える	
	【予習】	30分
	【復習】	30分

第11回	< 模擬保育 week > 3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える	
	【予習】	20分
	【復習】	30分
第12回	幼児期の表現活動と、小学校の様々な教科との学びの連続性について理解し、具体的な実践を考える。	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第13回	リトミック2回目を体験し、保育実践をイメージした上で、保育者の援助について考える。	
	【予習】 前回のリトミックの内容を思い出し、楽典の理解を深めておく。	60分
	【復習】 リトミックを実践した上で、どのように保育に取り入れられるか考察する。	30分
第14回	実習先での音楽表現活動について振り返り、その活動においての子どもへの育ちについて考える。	
	【予習】	60分
	【復習】	30分
第15回	ドキュメンテーションやポートフォリオ等の作成を通して保育を振り返り、幼児の心情や思考についての理解を深め保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】 保育構想力を高められるよう、自身の実習記録を見返しておく。	30分
	【復習】 具体的な指導場面を想定した保育を構想する力が身についたか、振り返る	20分

授業科目名	保育内容（造形表現）指導法			科目コード	C133-71				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 子どもと造形表現		後継科目	子どもと遊び 造形表現技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	グループによる模擬保育体験と製作活動を中心に行います。造形表現活動を通して、乳幼児が生き生きと参加できるねらいの設定、題材の工夫や展開方法、適切な援助や働きかけについて考えていきます。								
学習目標	領域「表現」のねらい及び内容について、造形表現活動を通して理解を深める。乳幼児の発達や学びの過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定した指導と保育を構想する方法を身に付ける。								
キーワード	感性 想像 創造 模擬授業 連携授業 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」横 英子 著 萌文書林（継続使用） 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身に付け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児における造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えて計画したり、実践したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動・模擬保育や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他Aは、授業（グループワーク等）に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現指導における保育者の役割 身近な材料を使った造形作品や玩具の製作	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	模擬保育 造形活動「作って遊ぶ」指導案の作成	
	【予習】「保育をひらく造形表現」P107～122を読み、活動の目的や題材の選定、指導計画や指導案の作成におけるポイントや留意事項を確認する。	50分
	【復習】	0分
第3回	模擬保育 身近な材料を使った造形あそびA	
	【予習】	0分
	【復習】製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。 ワークシート提出	60分
第4回	模擬保育 身近な材料を使った造形活動B	
	【予習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	30分
	【復習】製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。 ワークシート提出	60分
第5回	紙を染める	
	【予習】試作のための材料と資料を準備する。	20分
	【復習】製作と遊びを振り返り、レポートにまとめる。	30分
第6回	紙を染める	
	【予習】試作のための材料と資料を準備する。	20分
	【復習】製作と遊びを振り返り、レポートにまとめる。	30分
第7回	模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 指導案提出	30分
第8回	模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 指導案提出	30分
第9回	模擬保育 事後研究（相互、自己評価）	
	【予習】	0分
	【復習】保育実習 〃 に向け、新たな造形活動の計画を立て、指導案を作成する。	150分
第10回	積木と造形 カブラを使った造形活動	
	【予習】	0分
	【復習】活動を振り返り、レポートにまとめる。	60分

第11回	行事と造形（七夕）：素材の特性を生かした七夕飾りの製作をする。	
	【予習】	0分
	【復習】オリジナルの七夕飾りを完成させる。展示し、相互鑑賞する。 作品提出	60分
第12回	紙の造形 - 紙工作の技法 切る・ちぎる・折る・曲げる	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを参考にして試作する。	60分
第13回	紙の造形 - メッセージカードの製作 仕掛けづくり	
	【予習】	0分
	【復習】作りたいカードのデザインを考える。	40分
第14回	紙の造形 - メッセージカードの製作 装飾	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	紙の造形 - メッセージカードの製作 完成 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】メッセージカードを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分

授業科目名	子どもと遊び			科目コード	C133-80				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	中山 里美 石動 瑞代 日光 恵利 難波 純子 塩見 一成						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目							
関連科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	園生活における行事が、子どもが自ら環境に働きかけ、人と交流しながら活動する“遊び”の延長線上にあることを理解する。また、子どもの系統的発達をふまえた遊びの選定・展開によって、行事を教育的価値の高い活動へと導く方法を身に付ける。								
学習目標	1) 遊びの連関性によって、行事が展開される過程を理解する。 2) 5領域の総合的展開によって、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を理解する。 3) 模擬保育を通して、5領域の総合的展開をはかる指導方法を身に付ける。								
キーワード	子どもの遊び 主体的・対話的で深い学び 系統的発達 継続的活動(プロジェクト) 協同性 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編(フレーベル館) その他適宜参考資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの遊びに見られる系統的発達を理解する。子どもの興味・関心から生まれる継続的な遊びが、行事として園生活に取り込まれていることを理解する。								
LO-2	【技能】模擬保育を通して、ねらい・内容に沿った遊びを総合的に指導する方法を身に付ける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの系統的な発達を支える活動や環境を選択し、モノや人との関わりを深めるための援助を展開する方法を指導計画にまとめることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの経験から5領域にわたる総合的な育ちを捉え、対話的で深い学びへと向かうプロセスを見通すことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】模擬保育に協同的に参加し、適切な評価を行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		30	10			100
LO-1			20						20
LO-2					30				30
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は、授業の参加態度(グループワーク等)とする。右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します： グループワーク								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	遊びの継続性と行事における学び（5領域の総合的展開による生活体験での学び） ・子どもの発達と劇遊び（絵本やお話の世界で遊ぶことの意味）	
	【予習】	0分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。レポート課題に取り組む。	50分
第2回	子どもの発達と劇遊び（絵本の選択とお話の世界で遊びの話し合い） ・劇遊びの題材の選定と遊びの展開（遊びの展開図の作成）	
	【予習】取組みたい絵本を選択する。	50分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第3回	劇遊びと人間関係（ごっこ遊び、子どもが主体となる話し合い）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第4回	劇遊びと言語表現（言葉のおもしろさ、やり取りする楽しさ）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第5回	劇遊びと言語表現 ・劇遊びの脚本づくり	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第6回	劇遊びと身体表現	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第7回	劇遊びと身体表現 ・身体を使った表現方法	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第8回	劇遊びと音楽表現（歌を作る、リズム遊び）	
	【予習】取組みたい絵本を選択する。	50分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第9回	劇遊びと音楽表現 ・劇中の歌を作る、リズム遊びを作る	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第10回	劇遊びと製作（子どもとともに作る環境構成）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分

第11回	劇遊びと環境構成 ・劇遊びと制作活動	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第12回	劇遊びの模擬保育 ・模擬保育の準備	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第13回	劇遊びの模擬保育 ・模擬保育の準備	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育の準備をする。課題レポートの作成	90分
第14回	劇遊びの模擬保育 ・模擬保育のリハーサル	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポート（リハーサルの振り返り）を作成する。	50分
第15回	劇遊びの模擬保育（発表会）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成（振り返りシート、まとめ課題）	60分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	嶋野 珠生 北川 忠						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	特別支援論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	インクルーシブ保育とはどのような保育か、その意義を理解し、そのための方法を多くの事例を通して理解する。また、特に富山県の支援現場での実践に基づいた理解を深める。障害についてや実際に行われている支援・課題について主体的、積極的にグループや個人で調べ、まとめ、発表する。								
学習目標	1. インクルーシブ保育を支える理念、歴史の変遷を知り、その重要性を理解する。2. 障害の種別や障害に応じた保育展開の理解を深め、具体的援助方法や環境設定について詳しく知る。3. 子どもの将来を見据えた保育の記録や計画立案について理解する。4. 地域における関係機関との連携など、援助を必要とする子どもの保育に関する実践的内容や保護者支援の在り方を理解する。5. インクルーシブ保育の対象となる障害児以外の子どもや家庭への支援の方法についても理解する								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、障害児保育、インクルーシブ教育・保育、発達障害、自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠陥多動性障害、障害理解と理解に基づく支援								
テキスト・ 参考書等	教科書 尾崎康子他「よくわかるインクルーシブ保育」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	インクルーシブ保育に関する基礎知識とインクルーシブ保育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、障害等支援を必要とする子どもが保育園・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	学修した知識や技術を、支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について応用して考え、自分なりの対応を試みることができる。								
LO-4	支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができるために、仲間と積極的に共同的な学びがで								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30		40			30			100
LO-1	10		5						15
LO-2	10		10						20
LO-3	10		15			10			35
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	Aは毎回の授業の振り返りの内容、主体的な活動への参加、グループワークへの積極的態、発表スキルなど総合的に評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 資料記事を読む インクルーシブ保育とは1	
	【予習】教科書 p p 4 - 7、40を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書 pp4-7と40を読み復習する。	40分
第2回	インクルーシブ保育とは2 2023年小学校のインクルーシブ保育報道動画 文科省特別支援教育最新情報サイト	
	【予習】教科書 4-7を読む。	30分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書 4-7を読み復習する。	40分
第3回	インクルーシブ保育の対象理解 1 特別な支援ニーズのある子ども 外国籍、性的マイノリティ、貧困	
	【予習】教科書 14-17を読む。	30分
	【復習】子ども家庭庁 外国籍等の子どもの保育に関する取組事例集を見直す。 授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分
第4回	インクルーシブ保育の対象理解 2 特別な支援ニーズを持つ子どもー発達障害	
	【予習】教科書 p 8-13を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分
第5回	インクルーシブ保育実践上の保育者の専門性	
	【予習】教科書 p p 26 - 27を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	40分
第6回	インクルーシブ保育の園内保育体制	
	【予習】教科書 p p 20 - 21を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書 20-21を読み直して復習。	40分
第7回	富山県内の発達障害児者への支援の現状 (北川)	
	【予習】富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」のHPを前もって見ておく。URL : https://www.toyama-reha-hop.jp/	30分
	【復習】授業スライドを読み返し復習する。	40分
第8回	日本におけるインクルーシブ保育の展開 倫理的考え方、合理的配慮	
	【予習】教科書 40, 32 - 37読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	40分
第9回	療育現場での実践 (北川)	
	【予習】発達支援センターHPにある支援冊子「ひとりじゃないよ」乳幼児版を読んでおく。 https://www.toyama-reha-hop.jp/img/file300.pdf	60分
	【復習】授業のスライドを見直しして復習。	60分
第10回	インクルーシブ保育を実現する保育の工夫 1 計画、環境構成、遊び、生活	
	【予習】教科書 80-108を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分

第11回	「ひとりじゃないよ」に込められた思い(北川)	
	【予習】『ひとりじゃないよ』学齢期版を読む。 https://www.toyama-reha-hop.jp/img/file302.pdf	30分
	【復習】授業スライドを読み返し復習する。	40分
第12回	インクルーシブ保育を実現する保育の工夫2 個別の保育計画に基づく問題行動の提言の取組	
	【予習】教科書 118-を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書指定ページを読み返す。	50分
第13回	ペアレントトレーニングを学んでみましょう(北川)	
	【予習】「ひとりじゃないよ」成人期版を読んでおく。 https://www.toyama-reha-hop.jp/img/file304.pdf	30分
	【復習】授業スライド、資料を見直す。	50分
第14回	インクルーシブ保育の実践 事例の読み込みから考える	
	【予習】これまでの授業スライドの見直し。	30分
	【復習】授業スライド、プリントを読み直す。	50分
第15回	「支援者(保育士)を目指すあなたへのメッセージ」(北川)	
	【予習】北川担当のこれまでのスライドの見直し。	30分
	【復習】授業スライド、資料を見直す。	50分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C135-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、学生が社会的養護の実践について理解できるように指導を行う。								
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	社会的養護	後継科目							
関連科目	特別支援論 ・ 、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子どもの権利擁護について理解を深め、社会的養護児童への理解と支援について考え、児童の心身の成長・発達を保障するための援助技能・知識を習得させ、児童観や倫理観を養う。								
学習目標	保育士として子どもの成長に向けての援助方法を理解する。								
キーワード	「子どもの権利擁護」「社会的養護の理念」「福祉施設の生活」「里親・里子」「心身の成長・発達保障」								
テキスト・ 参考書等	橋本好市・原田旬哉編著「保育と社会的養護実践」みらい 保育福祉小六法 みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会的養護の理念を理解し、施設等で生活する子どもに対する支援について学ぶ								
LO-2	成長に向けた援助内容、方法、子どもの最善の利益を理解する								
LO-3	施設における児童観・児童福祉施設観を養う								
LO-4	子どもの心身の成長・発達を理解する								
LO-5	社会人としてのリーダー性、協調性、自主性などを考える								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			40			20			60
LO-2			25						25
LO-3			5						5
LO-4			5						5
LO-5			5						5
備考	Aは通常授業の中で評価(演習科目につき積極的な発言や姿勢を評価) 期末レポート50%、毎回のレポート30% 実習後の振り返りを兼ねて、事例検討を行い、最善の利益の視点で、ディスカッションを行い視野を広げる。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 実習事例提出	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	「実習事例検討」 実習事例（障害者支援施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	15分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	30分
第3回	子どもの権利を表現し、伝える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	90分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	90分
第4回	子どもの権利擁護について考える	
	【予習】小六法の中から権利に関する法律を探してみる	90分
	【復習】子どもの最善の利益について考える	60分
第5回	子どもの権利を表現し、伝える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	90分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	90分
第6回	倫理綱領と苦情解決について考える	
	【予習】任意の3団体の倫理綱領を調べる	60分
	【復習】類似点について考え、苦情解決の仕組みの課題について考える	90分
第7回	児童虐待について考える	
	【予習】テキスト「心の傷を癒し、心を育むための援助」「虐待された子どもへの支援」「虐待への対応」を考える	60分
	【復習】虐待を受けてきた子どもへの支援について考える	60分
第8回	入所児童の心情について考える「日本の見捨てられた子どもたち」	
	【予習】テキスト「日常生活支援と諸施設の暮らし」「児童養護施設の暮らし」「乳児院と母子生活支援施設の暮らし」「里親家庭での暮らし」	60分
	【復習】入所児童の心情について振り返る	90分
第9回	里親制度について考える「夢が持てない」	
	【予習】テキスト「里親制度とは・里親養育の特徴」	60分
	【復習】里親の悩みについて考える	90分
第10回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える「こうのとりのゆりかご」	
	【予習】海外の赤ちゃんポストの現状を調べる	60分
	【復習】出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	90分

第11回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える	
	【予習】 海外の赤ちゃんボスの現状を調べる	60分
	【復習】 出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	90分
第12回	児童相談所について考える	
	【予習】 児童相談所の現状、専門性は何か調べてくる	60分
	【復習】 児童相談所の課題について考える	90分
第13回	障害のある子どもと大人への支援について考える	
	【予習】 バリアフリーとユニバーサルデザインについて調べてくる	90分
	【復習】 身近な生活の中で、バリアフリーを考える。	90分
第14回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】 被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	90分
	【復習】 これまでの人生と障害のある人とのかかわりを考える	90分
第15回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】 被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	90分
	【復習】 権利擁護を理解した保育士の在り方を理解する	90分

授業科目名	子育て支援			科目コード	C135-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験	特定非営利活動法人の代表理事として、地域の子育て支援、こども食堂、保護者の相談支援に携わる。この実務経験を生かし、今日的課題である子育て支援についての知識や技術について解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子ども家庭支援論	後継科目							
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所等児童福祉施設において保育士の専門性を生かした保護者支援を行う上で必要な保育相談支援の「意義」「基本」「内容」「方法と技術」「実際」について理解し、保護者に対する保育指導の力の基礎を養う。								
学習目標	保育相談支援の意義と原則について理解する。 保護者支援の基本を理解する。 保育相談支援の実際について学び、内容や方法を理解する。								
キーワード	子どもの最善の利益、保育ソーシャルワーク、多職種との連携・協働、子育て支援、計画と記録と評価								
テキスト・ 参考書等	テキスト：小原敏郎・三浦主博著「保育実践に求められる子育て支援」ミネルヴァ書房 参考書：厚生労働省編『保育所保育指針解説書』（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育相談支援の意義、基本、方法と技術、実際等、保育相談支援の基礎知識を理解している。								
LO-2	【技能】 生活課題や社会資源の把握、相談援助の過程など、保育相談支援に必要なソーシャルワークの基本を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 ワークや事例検討を通して、保育相談支援の知識や技術について学びを深める。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保護者に対する保育指導を行う保育士になるための自己課題を把握し、保育指導実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 ワーク等に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。相談援助者に必要な心構えや態度、価値を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			50						50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他A20%は、授業参加態度及びワーク等の際に提出する「ふりかえりシート」等の評価。 期末レポートが50%、毎回のレポート等提出物30% グループワークにより、子育て支援のニーズを把握する。実際に子育て支援活動を実習し、ドキュメンテーションを作成し、グループごとにプレゼンテーションを作成し発表する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	保育実践における子育て支援	
	【予習】子育て支援の現状について調べる	15分
	【復習】地域の子育て支援について調べてみる	30分
第3回	保育者の専門性と倫理	
	【予習】保育者の専門性とは何か考えておく	15分
	【復習】保育者に求められる倫理についてまとめてみる	30分
第4回	保育者の支援ニーズへの気づきと多面的な理解 生活課題の把握 ワーク 子どもの様子から生活課題を考える	
	【予習】生活課題の把握について、テキスト、参考文献等で確認する	30分
	【復習】生活課題の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第5回	子ども・保護者が多様な他者と関わる機会・場の提供 社会資源の理解と活用 ワーク 社会資源を導き出そう	
	【予習】社会資源の把握について、テキスト第9章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】社会資源の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第6回	子ども・保護者の状況・状態の把握と養育力の向上 苦情への対応	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第7回	子育て支援の計画と環境の構成 保育所の家庭支援	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第8回	支援の実践・記録・評価 面接技術の基本	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第9回	職員間・関係機関との連携・協働 インタビューとアセスメント ワーク 保育事例からインタビューとアセスメントを学ぶ	
	【予習】インタビューとアセスメントについて、テキスト第10章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】インタビューとアセスメントについて、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第10回	地域の保護者への支援 援助計画の意義と視点 ワーク 保育事例から援助計画を作成する	
	【予習】援助計画について、テキスト第11章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】援助計画の意義と視点について、授業内容を確認し、理解を深める	30分

第11回	「保育相談支援の進め方」(3)：実施、評価 援助の実施と評価 ワーク さまざまな立場からのふりかえり	
	【予習】相談援助の実施と評価について、テキスト第12章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】相談援助の実施と評価について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第12回	「保育所の日常場面における保育相談支援」 日常の保育におけるショート事例の検討	
	【予習】テキストの事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所の日常場面における相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第13回	「保育所における特別な対応を要する家庭への支援」 児童虐待への対応事例	
	【予習】テキスト（児童虐待への対応事例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所における特別な対応を要する家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第14回	「児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援」 児童養護施設の実例	
	【予習】テキスト第16章（児童養護施設の実例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第15回	「障がい児施設等における保育相談支援」 障がい受容の実例	
	【予習】テキスト（障がい受容の実例）を読んでおく	30分
	【復習】障がい児施設等における保育相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分

授業科目名	音楽表現特講			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、音楽表現技術	後継科目	なし						
関連科目	保育内容(音楽表現)指導法、子どもと音楽表現								
資格等 取得との関連									
授業の概要	器楽(ピアノ)と幼児の歌の演習を、それぞれの経験に合わせて学習します。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、多様な音楽表現に取り組むことを目標とします。								
キーワード	器楽(ピアノなど) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					40				40
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5									
備考	「その他A」の評価20点については、平素の授業に取り組む態度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音楽表現技術 の学習をふまえ、2年次ではさらに幅広く音楽経験を行う授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	30分
	【復習】シラバスを読み、前期の授業内容（課題曲）をテキスト（楽譜）と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	
	【予習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
	【復習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	20分
第3回	レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	
	【予習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
	【復習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
第4回	レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	
	【予習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
	【復習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
第5回	レッスン： おかあさん テキスト p.138	
	【予習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
第6回	レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	
	【予習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
第7回	レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	
	【予習】レッスン： Happy Birthday to You テキスト p.164	20分
	【復習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
第8回	レッスン： Happy Birthday to You テキスト p.164	
	【予習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
	【復習】レッスン： Happy Birthday to You テキスト p.164	20分
第9回	レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	
	【予習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
第10回	レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： ジングルベル テキスト p.159	20分
	【復習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分

第11回	レッスン： ジングルベルテキスト p.159	
	【予習】レッスン： あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130-131	20分
	【復習】レッスン： ジングルベルテキスト p.159	20分
第12回	レッスン： あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130-131	
	【予習】レッスン： ゆきのペンキやさん テキスト p.130	20分
	【復習】レッスン： あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130-131	20分
第13回	レッスン： ゆきのペンキやさん テキスト p.130	
	【予習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
	【復習】レッスン： ゆきのペンキやさん テキスト p.130	20分
第14回	レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	
	【予習】レッスン： 実技発表に向けて とんぼのめがね テキスト p.172を練習してくる。	85分
	【復習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
第15回	レッスン： とんぼのめがね テキスト p.172 実技発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法			後継科目					
関連科目	子どもと遊び								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	「造形表現技術」の内容をさらに深めます。多様な創作活動を経験することにより、表現の幅を広げながら、表現の楽しさ・喜びを味わい、乳幼児の豊かな造形表現を導くことのできる能力を身につけます。多様な創作活動の中で、「環境」に目を向けて、空間の活用や装飾、行事等に関わる製作に取り組み、乳幼児がより創造的な生活を過ごす手立てを考えます。								
学習目標	乳幼児の発達過程を踏まえ、乳幼児の感性や創造性をより豊かにするための知識・技能、表現力を身に付ける。身近な自然・ものの色や形、感触やイメージ等に親しむための素材や教材などの役割に関する理解を深める。								
キーワード	感性 想像 創造 製作活動 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」槇 英子 著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児における造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えたり、計画したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、製作過程を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業(グループワーク等)に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	コラージュ シフティングを使った表現	
	【予習】不要な雑誌、フライヤー、フリーペーパーなどを準備する	30分
	【復習】作品の構成を考える。	30分
第2回	コラージュ デベイズマンを使った表現 作品提出	
	【予習】不要な雑誌、フライヤー、フリーペーパーなどを準備する	30分
	【復習】相互鑑賞	30分
第3回	素材と表現方法：クレヨン クレヨンを使った技法と製作。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】作品を相互鑑賞する	30分
第4回	土粘土 土粘土で遊ぶ 粘土作りから形作りへ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	土粘土 土粘土を使った造形遊び	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。 レポート提出	60分
第6回	造形遊び（お花紙を使って）お花紙を使った遊びを工夫する	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。 レポート提出	60分
第7回	版画 ローラー遊び 版画の種類と特性について 版画インクの扱い方	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】製作を振り返り、次時の見通しを持つ。	30分
第8回	版画 ローラープリントの紙を使って - 紙バッグの製作	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第9回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を考える	
	【予習】ストーリーに合わせて必要となるもの考える	30分
	【復習】必要な材料を考える	30分
第10回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を制作する	
	【予習】必要な材料を準備する	30分
	【復習】	0分

第11回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を完成させる	
	【予習】必要な材料を準備する	30分
	【復習】作った道具や衣装を試す	30分
第12回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を改良する	
	【予習】必要な材料を準備する	30分
	【復習】再度作った道具や衣装を試す	30分
第13回	造形活動の計画と援助 造形遊びにおける環境構成やや幼児との関わり方や声かけについて考える	
	【予習】興味のある造形遊びについて調べる	30分
	【復習】活動を通して学んだことをまとめる レポート提出	60分
第14回	紐で遊ぶ(合同) 組み紐づくり	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第15回	素材と表現方法：パステル コンテやパステルを使った技法と製作。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】授業で製作した作品を再度鑑賞したり、学習内容をポートフォリオに整理したりし、製作と学習を振り返る。	70分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	嶋野 珠生 松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育実習 教育実習指導		後継科目	教育実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	幼稚園における10日間の教育実習である。								
学習目標	幼稚園で生活する幼児の発達の特徴や幼稚園教育の内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的職務内容や役割についての具体的理解を深める。								
キーワード	参加実習 担任実習 指導計画								
テキスト・ 参考書等	「実習日誌の書き方」開仁志編著 一藝社 「指導案大百科事典」 開仁志編著 一藝社 「実習の記録と指導案」田中亨豊胤監修、山本淳子編著 ひかりのくに 「幼稚園教育要領」文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】「幼児の発達や興味・関心」「教育課程・指導計画」「保育内容や方法」等に関する知識を習得している。								
LO-2	【技能】幼児と親和的にかかわり、臨機応変な対応や措置を行う。集団や個々の幼児へのかかわり方を工夫して参加実習や担任実習に取り組むことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】環境設定や保健・安全面に配慮しながら、創意工夫して保育計画を立案し、準備、実施、評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習や担任実習に主体的に取り組み、的確な観察による考察や自己課題を日誌に記入できる。指導・助言を受け止め、向上心をもって積極的に実習に取り組む意欲をもつ。								
LO-5	【人間性・社会性】マナーや正しい言葉遣いを心掛け、職員や保護者、来客と対応することができる。時間や規則を守り、施設や備品の取り扱いに配慮することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A) 実習先幼稚園による評価80% (B) 学科教員による実習日誌の評価20%								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外幼稚園での実習	
	【予習】園について、HPや事前訪問で調べておく。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第2回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第3回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第4回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第5回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第6回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案を作成する。	60分
	【復習】反省会での助言をもとに指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第7回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案見直し、教材準備。	60分
	【復習】部分実習の反省会を振り返り、指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第8回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案を作成する。	60分
	【復習】反省会での助言をもとに指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第9回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案見直し、教材準備。	60分
	【復習】部分実習の反省会を振り返り、指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第10回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動目標を確認し、準備する。	60分
	【復習】1日の活動を振り返り、日誌を書く。	90分

第11回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動目標を確認し、準備する。	60分
	【復習】1日の活動を振り返り、日誌を書く。	90分
第12回	学外幼稚園での実習	
	【予習】全日担任実習のための指導案を作成、活動の準備を行う。	60分
	【復習】指導案の見直し、修正。	90分
第13回	学外幼稚園での実習	
	【予習】指導案添削をもとに、再度修正、活動の準備を行う。	60分
	【復習】全日担任実習の反省踏まえて指導案を見直す。日誌を書く。	90分
第14回	学外幼稚園での実習	
	【予習】これまでの実習を振り返り、実習目標を明確に。	60分
	【復習】目標に沿った自身の活動の反省を行い、日誌を記録する。	90分
第15回	学外幼稚園での実習	
	【予習】最終日の目標を確認して、準備を行う。	60分
	【復習】実習全体を振り返り、日誌に記録を書く。	90分

授業科目名	教育実習指導			科目コード	C151-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	嶋野 珠生 松居 紀久子 難波 純子 松本 圭朗					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育実習		後継科目	教育実習					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	前期は「教育実習」の事後指導および「教育実習」の事前指導とします。後期は「教育実習」の事後指導を中心に行います。教育実習後は自己評価に基づき自己課題を見つけ、その解決に取り組みます。「教育実習」の事前報告および事後報告等では、学科の専任教員全員が担当します。								
学習目標	事前指導では教育実習の意義や目標を理解し、実習の方法や心得などを学習します。事後指導では実習の内容を振り返り、課題の確認や実習成果のまとめを行います。自己課題の改善に向けた具体的な取り組みをします。								
キーワード	実習日誌 指導案 遊びのレシピ 教材作成 実習の事前・事後指導								
テキスト・ 参考書等	開仁志編『実習日誌の書き方』一藝社 開仁志編『保育指導案大百科事典』一藝社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。また、自己理解し、実習後の省察ができる。								
LO-2	【技能】人前に立って分かりやすく話したり、手遊びやパネルシアターなどを披露したりする表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの年齢や発達過程を踏まえた上で保育における指導計画（指導案）をたて、「ねらい」と「内容」の違いを理解している。また、その内容に応じた「環境構成」や、「保育者の援助」の方法について自身で思考								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育教材について関心をもち、製作や模擬保育に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】相互評価においては、お互いの良さに気づき、それを伝えることができる。互いから学びあうことができる。グループでの事例検討活動では、お互いを尊重しながら率先して役割を果たしてグループに貢献することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		40	20			100
LO-1			40						40
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10	10			20
LO-5						10			10
備考	「教育実習」および「教育実習」終了後に提出した課題レポートを、各20点満点で評価する。提出期限の遅延に応じて減点。 成果発表は、各自が教材研究をして現場を想定し、作成、発表を総合的に判断する。前期の「遊びのレシピ」スライドと教材研究、後期の教材研究を各20点満点で評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	付属みどり幼稚園入園準備1日実習 3/28...3組、3/29...4組	
	【予習】新入園児を迎え入れるにあたっての幼稚園の準備にはどのようなものがあるのか、あらかじめ各自で調べておく。	30分
	【復習】みどり幼稚園での新入園児を迎え入れるための準備作業にどのようなことがあったのか、振り返りメモをしておく。	30分
第2回	授業オリエンテーション、1日実習の省察、3.4.5歳児の発達を5領域で整理する	
	【予習】新入園児を迎え入れるにあたっての幼稚園の準備にはどのようなものがあるのか、あらかじめ各自で調べておく。	30分
	【復習】みどり幼稚園での新入園児を迎え入れるための準備作業にどのようなことがあったのか、振り返りメモをしておく。 授業スライドを見直す。 課題：教科書「実習の記録と指導案」p.138～141を見て、3.4.5.6歳児の発達を5領域で整理する	30分
第3回	3歳児の発達を5領域で読み取る（DVD）	
	【予習】指針からまとめた「ねらい」「内容」一覧表を見直しておく。	30分
	【復習】指導案作成を念頭に置き、配布プリントや作成したワークシートを見直し、3歳児の発達を5領域の読み取りポイントを復習する。授業スライド	60分
第4回	4歳児の発達を5領域で読み取る（DVD）	
	【予習】指針からまとめた「ねらい」「内容」一覧表を見直しておく。	30分
	【復習】指導案作成を念頭に置き、配布プリントや作成したワークシートを見直し、4歳児の発達を5領域の読み取りポイントを復習する。授業スライド	60分
第5回	5歳児の発達を5領域で読み取る（DVD）	
	【予習】指針からまとめた「ねらい」「内容」一覧表を見直しておく。	30分
	【復習】指導案作成を念頭に置き、5歳児の発達を5領域の読み取りポイントを復習する。	60分
第6回	模擬保育に向けて、指導案作成をより理解するための「遊びのレシピ」作りと教材研究	
	【予習】教育実習指導で学んだ、3.4.5歳児の「発達を5領域で読み取る」および、保育実習指導で実施された「しっぽとり遊び」題材にした各年齢ごとの「ねらい」「内容」「活動」のまとめを見直し、各年齢ごとの特徴を理解する。	60分
	【復習】模擬保育を想定した「遊びのレシピ」の作成と、それに関する「教材づくり」に取り掛かる。	60分
第7回	「遊びのレシピ」作成と「教材づくり」	
	【予習】教材づくりに必要な材料を準備しておく。	30分
	【復習】模擬保育を想定した「遊びのレシピ」の作成と、それに関する「教材づくり」を継続。	60分
第8回	「遊びのレシピ」作成と「教材づくり」	
	【予習】教材づくりに必要な材料を準備して授業に臨む。「遊びのレシピ」完成に向けて作業継続。	30分
	【復習】模擬保育を想定した「遊びのレシピ」とそれに関する「教材づくり」を完成させ、指導案に落とし込む作業をする。「遊びのレシピ」スライドの提出。	60分
第9回	模擬保育（保育実習指導と同じ）	
	【予習】自分の模擬保育の準備をする。	30分
	【復習】模擬保育の振り返りを行う。	30分
第10回	模擬保育（保育実習指導と同じ）	
	【予習】自分の模擬保育の準備をする。	30分
	【復習】模擬保育の振り返りを行う。	30分

第11回	模擬保育の振り返りを踏まえ、担当クラスを想定した指導案作成と教材準備	
	【予習】自分の模擬保育の反省から課題を明確にする。	30分
	【復習】指導案と教材の準備継続。	30分
第12回	模擬保育の振り返りを踏まえ、担当クラスを想定した指導案作成と教材準備	
	【予習】自分の模擬保育の反省から課題を明確にする。	30分
	【復習】指導案と教材の準備継続。	30分
第13回	幼稚園実習に向けて9月の子どもの姿を調べ、ねらい、内容、活動を検討する。	
	【予習】保育実習指導で行った、保育実習の振り返りを見直しておく。	30分
	【復習】幼稚園実習に向けてのワークシート1を提出する。	60分
第14回	幼稚園実習の木行と意義、幼稚園実習の自己目標の作成へ	
	【予習】各年齢の子どもの発達のとねらい、内容について復習しておく。	60分
	【復習】幼稚園実習に向けてのワークシート2を提出する。	60分
第15回	「教育実習」オリエンテーション2	
	【予習】各実習園の所在地、連絡先、保育方針、保育内容などの特徴をHP等で今一度調べ把握しておく。	30分
	【復習】実習先の幼稚園に出向く「直前オリエンテーション」は学生から幼稚園に電話を入れアポイントを取り、前期試験終了後から8月23日までの間に済ませておく。	60分
第16回	【これより後期授業】 事後指導 実習事後報告会	
	【予習】事後報告書を完成させる	15分
	【復習】実習先の幼稚園へ、一人一通お礼状を書き、各自で送付する(実習終了後、1週間以内に投函)。	30分
第17回	教育実習指導(後期)ガイダンス 事後指導 ・後期授業計画内容を確認、見直しを立てる。 ・指導案または実践した保育の紹介に向けて「実践発表ワークシート」作成	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握してくる。	15分
	【復習】指導案または実践した保育の紹介に向けて「実践発表ワークシート」を完成させて提出	30分
第18回	事後指導 指導案または実践の振り返りと発表、相互評価(1)	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】友達の実践からの学びを振り返る	30分
第19回	事後指導 指導案または実践の振り返りと発表、相互評価(2)	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】友達の実践からの学びを振り返る	30分
第20回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める	60分

第21回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める	60分
第22回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める。実演発表の練習をする。掛け合いの練習をしておく。	60分
第23回	事後指導 教材の実演発表（相互評価と教員評価）	
	【予習】実演発表練習	60分
	【復習】自分の実技の振り返りと友達からの学びを復習する	0分
第24回	事後指導 教材の実演発表（相互評価と教員評価）	
	【予習】実演発表練習	60分
	【復習】自分の実技の振り返りと友達からの学びを復習する	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習			担当教員名	中山 里美 日光 恵利				
実務経験	公立支援学校及び高等学校で教員として26年間勤務した経験を生かし、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導を行う。								
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	保育実習指導 保育実習 - 1			後継科目	なし				
関連科目	保育実習 教育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習」の事前事後指導として行います。1年次の講義や実習「保育実習 - 1」（保育所3歳未満児）での学びをふまえて、事前指導では3歳以上児を対象とした保育所実習として指導計画の作成や実践について学習します。事後指導では実践を通じた学びを振り返り、自己の課題を明らかにします。								
学習目標	保育実習の事前・事後指導として行う。保育実習の意義・目的を理解し、実習の内容を総合的に学び、保育の計画と実践、評価と改善、専門性について理解する。事後指導では、実習の総括と自己評価から課題を明確にする。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習 指導案 グループワーク 連携授業								
テキスト・ 参考書等	1) 関仁志編『実習日誌の書き方』（一藝社） 2) 関仁志編『保育指導案大百科事典』（一藝社）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 保育所の機能や社会的役割、保育士の職務について理解している。								
LO-2	[技能] 幼児の生活や発達過程をふまえて、指導計画を立案することができる。保育内容や集団・個々の幼児へのかかわりを工夫し								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 自らの実習経験をとおして、幼児の生活や発達過程をふまえた養護や教育の基本的内容とその実践について考えることがで								
LO-4	[関心・意欲・態度] 幼児をとりまく生活環境や発達の様子、保育者の役割に関心をもち、基本的な援助の方法を身につける。								
LO-5	[人間性・社会性] 指導計画の立案や教材研究、模擬保育の実践などの課題に主体的に取り組み、指導を受けて自らの研究を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70	10	20				100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3				10	10				20
LO-4			20						20
LO-5			10		10				20
備考	右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的、保育実習の自己評価と自己課題の設定	
	【予習】「学外実習の手引き」で「保育実習」の目的と内容について確認する。 「保育実習 -1」を実習日誌などで振りかえり、自己課題について考える。	20分
	【復習】保育指針：「ねらいと内容」に関する課題プリントを完成させる。	60分
第2回	保育実践力の向上 指導案の書き方（全日実習）	
	【予習】	0分
	【復習】「全日実習指導案」習の書き方に関する課題を仕上げる。	30分
第3回	保育実践力の向上 指導案の書き方（集団遊び）	
	【予習】テキスト2、テキスト3該当箇所を読み、指導計画作成の意義について確認する。	30分
	【復習】指導計画作成の意義とポイントを確実に理解する。	20分
第4回	保育実践力の向上 指導案の書き方（集団遊び）発表	
	【予習】集団遊びの指導案を完成させる	60分
	【復習】指導計画作成の意義とポイントを確実に理解する。	20分
第5回	保育実践力の向上 模擬保育について・ガイダンス	
	【予習】部分担任実習の指導案作成を想定して活動内容を検討する。	30分
	【復習】作成途中の指導計画を書き進める。	30分
第6回	保育実践力の向上 模擬保育の実践準備	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	30分
	【復習】	0分
第7回	実習事前オリエンテーション（実習に関する資料の配布、説明）	
	【予習】〔持参するもの〕学外実習の手引き、実習ファイル	0分
	【復習】打合せの電話を掛ける	0分
第8回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	20分
	【復習】実践の考察をする。	30分
第9回	保育実践力の向上 学外講師による特別講義「指導計画について」	
	【予習】	0分
	【復習】指導計画作成においてチェックされた箇所を確認して修正する。	20分
第10回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	20分
	【復習】実践の考察をする。	30分

第11回	実習事前報告 [個別指導担当教員の指導による]	
	【予習】実習園を訪問し、事前打ち合わせを行う。 打ち合わせてきた内容に基づいて事前報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第12回	保育実践力の向上 指導案の書き方 (年齢別保育)	
	【予習】	60分
	【復習】年齢別保育の指導案を完成させる	0分
第13回	事後指導 実習事後報告 [個別指導担当教員の指導による]	
	【予習】実習を振りかえり、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第14回	事後指導 自己評価	
	【予習】実習中に受けた指導を日誌や反省会の記録などから整理し、確認する。	20分
	【復習】実習自己評価も参考に実習事後レポートを作成する。	60分
第15回	事後指導 実習報告会	
	【予習】自己課題解決にとりかかれるよう、必要なものを準備する (参考資料の収集、下調べ、材料の準備等)。 自己課題解決に取り組む。	20分
	【復習】自己課題解決に取り組む。	20分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-21				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 日光 恵利					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 1 保育実習指導		後継科目						
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳以上児を対象とした10日間の保育所実習である。幼児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	既習の教科目や保育実習 - 1の経験を踏まえ、10日間の実習を通して保育所の役割と機能、乳幼児の保育と子育て支援、指導計画の作成・実践・評価、保育士の業務を理解し、実習における自己課題を明確化する。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習(全日・部分実習) 指導案								
テキスト・ 参考書等	厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 幼児の発達と生活・遊びに関する基本的な知識を有している。また、指導計画の意義、指導計画作成の基本的な知識を有している。								
LO-2	[技能] 幼児と親和的にかかわることができる。また、子どもの発達や興味関心を考慮した内容の活動を立案し、環境設定や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 個々の幼児への具体的な理解をもとに、適切な援助の方法について実践し、考察することができる。また、クラス全体へのかかわりにおいて、臨機応変に対応する。								
LO-4	[関心・意欲・態度] 自ら指導・助言を求め、積極的に参加実習や担任実習に取り組むことができる。また、指導内容を次の機会にいかして研究を深める態度が身についている。								
LO-5	[人間性・社会性] 基本的なマナーが身についており、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。また、職員としての立場を理解して適切な行動をとることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						10	10		20
LO-3						20			20
LO-4						20	10		30
LO-5						20			20
備考	その他 A : 実習先の保育所(園)からの評価 その他 B : 実習日誌等の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-30				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	塩見 一成 明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実習 の事前・事後指導を行います。保育実習 -2での学びをふまえて、保育所以外の社会福祉施設で実習することの意義・目的を理解し、保育士としての専門性について考察していきます。また、実習施設の特性について学び、支援に必要な知識や方法を理解し、実際の支援に活用できることを目指します。								
学習目標	社会福祉施設における意義・目的を、これまでの実習や講義等の学びと関連付けて理解する。 社会福祉施設における具体的支援方法を学び、実践に活用できるようになる。 計画と観察、記録、自己評価に基づく保育（支援）の改善について、実践事例を通して理解する。								
キーワード	施設サービス 生活支援 自立支援 地域 コミュニケーション 計画と評価 グループワーク、フィールドワーク、実習、ディスカッション								
テキスト・ 参考書等	授業時に参考資料を配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 実習施設や利用児者の特性を知り、必要な知識や支援内容について、説明することができる。								
LO-2	【技能・表現】 対象児者の個別的な理解に必要な観察・記録・考察のポイントを理解し、実践で活用できる。ねらいに応じた支援内容や配慮点を設定し、指導計画としてまとめることができる。								
LO-3	【思考・判断】 これまでの実習経験をふまえて、実習施設における適切な支援内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 実習施設や対象児者の現状を的確に把握し、保育者(支援者)の果たす役割及び適切な支援について、実習場面と関連付けながら検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 ノンバーバルなコミュニケーションの重要性を理解し、自らのコミュニケーション力を高める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60			40			100
LO-1			20						20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他Aは、課題研究発表や討議の状況による評価 グループワーク、フィールドワーク、実習、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的	
	【予習】実習 を選択した理由、学びたい内容を文章化しておく。	20分
	【復習】保育実習 2の振り返り事項を再確認し、今回の実習での学習課題が適当であるか、十分に検討する。	20分
第2回	指導案作成 (部分実習：集団遊び) 第2回授業に参加する 実習施設の機能及び役割の理解	
	【予習】指導案及び実習施設種別の機能や役割を、教科書等で確認する。 実習施設のHPなどで、施設について調べる。	30分
	【復習】実習施設に関する研究テーマを検討する。	20分
第3回	指導案作成 (指導案紹介・意見交換・提出) 第3回授業に参加する 実習施設における保育士等の業務内容の理解	
	【予習】実習施設についての情報を、HPや友人等から集めておく。	20分
	【復習】実習課題をふまえた、具体的な取組内容を整理し、文章としてまとめる。	40分
第4回	指導案作成 (前日実習・異年齢保育指導案) 第4回授業に参加する 保育実践力の向上 観察の視点	
	【予習】これまでの日誌をふりかえって、観察の視点を確認する。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第5回	模擬保育について (日程確認・係・担当分担) 第5回授業に参加する 保育実践力の向上 記録	
	【予習】これまでの日誌の記録内容を見返し、改善点を見出す。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第6回	模擬保育指導案作成準備 第6回授業に参加する 保育実践力の向上 指導計画の作成(講義)	
	【予習】指導計画のポイントについて、教科書で確認する。	20分
	【復習】特別講義の内容を、整理してまとめる。	30分
第7回	施設実習オリエンテーション 保育実践力の向上 指導計画の作成(演習)	
	【予習】提示された課題について、自ら指導計画を書いてみる。	30分
	【復習】講義中に受けた助言等を参考に、指導計画を完成する。	30分
第8回	実習事前打ち合わせ準備	
	【予習】実習打ち合わせで確認すべき事項をまとめる。	30分
	【復習】実習打ち合わせの内容をレポートにまとめる。実習までに、確認すべきことを整理する。	30分
第9回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】模擬保育で取り組む内容を検討し、そのために必要な準備をする。	30分
	【復習】実践を振り返り、考察を加える。	30分
第10回	事前指導 事前報告	
	【予習】実習事前報告用紙を完成する。	15分
	【復習】教員との打ち合わせ内容を確認し、実習事前準備をすすめる。	30分

第11回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】模擬保育で取り組む内容を検討し、そのために必要な準備をする。	15分
	【復習】実践を振り返り、考察を加える。	15分
第12回	事後指導 事後報告 グループワーク	
	【予習】実習の振り返りをする。 課題レポートに内容を確認しておく。	20分
	【復習】グループワークでの学びを整理してまとめておく。	40分
第13回	事後指導 自己評価（対象者理解、支援技術、支援計画性、学びの態度等）	
	【予習】実習の振り返りをする。 課題レポートに内容を再確認しておく。	10分
	【復習】課題レポートを仕上げる。	15分
第14回	事後指導 自己課題の明確化	
	【予習】保育実習 の実習日誌やグループワークでの学びを整理する。	20分
	【復習】担当教員との対話を通して学んだ内容を整理して記述する。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決のためのプラン作成	
	【予習】前回の講義で検討した自己課題について、再確認する。	10分
	【復習】これからの保育者としての学びや就職活動と関連付けて、自己課題解決のためのプランをより具体化しておく。	15分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-31				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	塩見 一成 明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が児童福祉施設の機能と役割につい								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	必要な場面では参考となる資料を配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20% 右記のアクティブラーニングを半分以上実施します：実習								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	山田 尚平						
実務経験	公立中学校で教員として15年間勤務した経験を生かし、各講義で英語運用能力の育成ができるよう指導を行う。								
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（国際理解）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、国際理解等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換を								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	当ゼミナールの共通参考文献・ウェブサイトは、以下の通り。また、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。 ・外務省ホームページ < www.mofa.go.jp/mofaj >								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【 総合演習（保育）】 保育実習や短大での講義、日常生活場面で感じた、保育や子育てについての疑問や問題意識を整理し、子どもの育ちや親子関係についての関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。保育現場での実践に役								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントのほか、対話を通して、さらなる探究に結びつけるようにする。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現：自らの問題意識を整理し、造形表現に関連する研究課題を設定する。設定した研究課題に応じて、制作や実践、調査活動に取り組み分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	四杉 昭康						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(教育)】 幼児期の教育に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	難波 純子					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育内容(音楽表現指導法)		後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：音楽表現】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	松居 紀久子						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（保健）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、子どもの保健、病気、保健指導等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定期由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（福祉）】 福祉の理念・制度・方法にかかわるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】1年生で学んだ保育の振り返り、現在の子ども家庭福祉の課題について考え、自らの興味・関心を整理する。	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	嶋野 珠生						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(心理)】 子どもを取り巻く課題、子育て期の保護者を取り巻く課題、特に発達や心理的な問題に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な心理学の調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察し、表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総合演習ガイダンス 配属先希望調査書の作成と提出	
	【予習】自分の関心ある分野について調べる	60分
	【復習】教員のゼミ紹介を振り返り、自分の関心分野を選択する	30分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	30分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	60分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	45分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	45分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】選択した調査方法、調査対象について整理しておく	45分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】研究計画書に沿って調査手続きを開始する	60分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】調査用紙の項目作成	60分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】調査用紙の項目完成	60分
	【復習】中間発表に向けてのオリエンテーション資料の復習	45分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】調査実施に係る準備を行う	60分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】調査の継続	60分
	【復習】調査を実施する	180分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】調査データを回収し整理する	60分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】調査結果の整理	120分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】ポスター制作継続	120分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	180分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】ポスターの製作継続	120分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	180分
第18回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	60分
	【復習】調査結果を分析、まとめる準備をする	60分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】調査結果を分析、まとめる準備をする	60分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】調査結果のまとめ継続	120分
	【復習】原稿の書き方に即して着手始める	60分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】調査結果をまとめる作業継続	120分
	【復習】原稿の書き方に即して執筆	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】記録集原稿の執筆開始	60分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】記録集原稿を執筆する	60分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】教員やゼミメンバーと討議しながら修正する	60分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】教員やゼミメンバーと討議しながら修正する	60分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】プレゼンテーション資料の準備に取り掛かる	60分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】プレゼンテーション資料を作成する	60分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】プレゼンテーションの練習	60分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】プレゼンテーション資料の作成継続	60分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	60分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	日光 恵利					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：保育・教育】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション(1) 総合演習の全体像について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション(2) 問題意識を整理し、取り組みたいテーマを検討する	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する ・Google Scholarでキーワード検索を試みる	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める Google Scholarで文献を検索する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(体育・健康)】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、体育・健康等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。「その他A」は、「研究への取り組み」とする。「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。グループワーク、フィールドワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	保育・教職実践演習			科目コード	C161-20				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史 嶋野 珠生 四杉 昭康 日光 恵利					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	なし					
関連科目	総合演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	幼稚園教諭・保育士に求められる資質能力について、現場保育者の実践を聞き、グループ討議・発表を通して具体的に学ぶ。 また、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格関連科目の履修状況や、保育・教育実習等を通しての学びをふまえ、必要な資質能力が自らに統合・形成されているかを、確認する。								
学習目標	保育者（幼稚園教諭・保育士）に必要な資質能力について、現場保育者の実践に触れることを通じて具体的に理解する。 自らのこれまでの学びを振り返り、必要な資質能力が身につけているか確認する。 必要な資質能力を身につけるための自己課題を見出し、改善のための方法を検討する。								
キーワード	社会性・対人関係能力 乳幼児理解とクラス経営 保育内容等の指導力 使命感・責任感 教育的愛情と感性 保育実践								
テキスト・ 参考書等	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の保育・教育全般及び子どもの発達等に関する知識を習得し、活用することができる。「使命感・責任感、教育的愛情と感性」「社会性・対人関係能力」「乳幼児理解やクラス経営」「保育内容等の指導力」の具体的な								
LO-2	【技能】 保育環境や教材を分析し、「保育のねらいと子どもの姿に応じた保育」を構想する力を身につけている。また、保育を行う上での基本的な表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 現代的な保育課題に関心を持ち、考察することができる。また、自らを省察し、必要な力が身につけているかを確認するとともに、自己課題を見だし、その解決法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの状況に応じた保育実践をめざして、保育の現状や自らの保育を振り返り、適切な評価を行えるよう努めている。教育的愛情と感性を深めることを意識し、努力しようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 自らの意見をもち、他者に的確に伝えると同時に、他者の意見に耳を傾け、協力して課題に取り組むことができる。また、グループ内での役割を適切に遂行することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		40	20	20		100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5							20		20
備考	その他A：履修カルテ（自己課題と改善策） B:グループワークの取り組み姿勢 提出された課題には口頭でコメントを行い返却する。 適宜、グループワークを行い全体共有として、プレゼンテーションを行う。 この他、プレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ディベート、を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明 履修カルテの記入	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	保育の理念と社会的・制度的理解 園の保育方針と制度面を調べ、ワークシートを作成する。	
	【予習】園のHPや案内パンフレット等を探しておく。	45分
	【復習】ワークシートを完成させる。	45分
第3回	縦割り保育等様々な保育形態についての事前学習	
	【予習】多様な保育形態について調べておく。	45分
	【復習】	0分
第4回	現職保育者から実践を聞く(1) 縦割り保育の意義と実際	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配された資料を整理し、理解を深める。	45分
第5回	現職保育者の実践報告を受けて設定された課題についてのグループ討議と発表	
	【予習】設定された課題について調べ、自分なりの考えをまとめておく。	45分
	【復習】他者の発表等を振り返り、課題に対する理解を深める。	45分
第6回	子どもの姿を踏まえた遊びについての事前学習	
	【予習】配布された資料を読んでおく。	45分
	【復習】	0分
第7回	現職保育者から実践を聞く(2) 子どもの試行錯誤を尊重する保育実践	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第8回	現職保育者の実践報告を踏まえた子どもの姿を発信する方法の検討	
	【予習】子どもの姿を発信する方法にはどのようなものがあるか調べておく。	45分
	【復習】クラスだよりやドキュメンテーション等を作成する。	120分
第9回	園庭環境についての事前学習	
	【予習】配布された資料を読んでおく。	45分
	【復習】	0分
第10回	現職保育者から実践を聞く(3) 子どもと共につくる園庭環境	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を整理し、理解を深める。	0分

第11回	ICTの活用と園庭環境の構成 理想の園庭についてのプレゼン資料を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼン資料を作成、完成させる。	180分
第12回	理想の園庭についてのグループ発表（1）	
	【予習】分かりやすく説得力のある発表を準備をする。	60分
	【復習】グループ発表の振り返りを行う。	45分
第13回	理想の園庭についてのグループ発表（2）	
	【予習】分かりやすく説得力のある発表を準備をする。	60分
	【復習】グループ発表の振り返りを行う。	45分
第14回	外部講師による講話 保育・幼児教育で大切にしてきたことと保幼小の連携	
	【予習】	0分
	【復習】講話の内容を振り返り、理解を深める。	45分
第15回	まとめ 履修カルテ記入 レポート作成	
	【予習】	0分
	【復習】レポートを完成させる。	120分

授業科目名	日本国憲法			科目コード	C511-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系	担当教員名	彼谷 環						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	日本国憲法の制定過程をたどり、人権主体の多様化について具体的事例を紹介する。また、国会・内閣・裁判所等の統治機構が、本来は人権を守るための役割を持つことの理解を深めていく。								
学習目標	人権の種類と性質を学ぶとともに、人権を行使することの重要性を理解する。憲法が、国民と権力担当者との契約であることを認識する。								
キーワード	基本的人権 国民主権 平和主義 人権とAI グローバリゼーション								
テキスト・ 参考書等	橋本勇人編『保育と日本国憲法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	主権者として人権の重要性について理解するとともに、日本国憲法の理念が実社会でどのように実現しているか認識できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70				30		100
LO-1			70				30		100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	評価方法 / その他Aは、講義に取り組む態度を評価する。 また、最近の社会的事象についてコメントを書く課題を不定期に実施し評価に含める。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス・憲法とはなにか 私たちの暮らしのなかの憲法	
	【予習】気になる憲法ニュースを調べてくる	90分
	【復習】テキストを読み、授業中の説明を含めてノートをまとめる	90分
第2回	日本国憲法の制定過程を学ぼう	
	【予習】テキストの該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第3回	法の下での平等 4つの平等と合理的区別	
	【予習】テキストp.68～72を読む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第4回	信教の自由と政教分離	
	【予習】テキストp.84～88を読む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第5回	表現の自由の意義と制約	
	【予習】テキストp.95～99を読む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第6回	経済的自由権と職業選択の自由	
	【予習】テキストp.104～108を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第7回	「健康で文化的な最低限度の生活」とは	
	【予習】テキストp.114～122を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第8回	子どもの権利条約	
	【予習】最近の子どもをとりまくニュースについて調べておく	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第9回	働く者の権利	
	【予習】テキストp.136～141を読む	90分
	【復習】テキストp.142「考えてみよう」の問題に取り組み、意見を提出する	90分
第10回	国会の権能	
	【予習】テキストp.144～151を読む	90分
	【復習】権力分立の仕組みがなぜ必要なのか、その理由をノートにまとめる	90分

第11回	内閣の権能・議院内閣制と大統領制の違い	
	【予習】テキストp.153～156を読む	90分
	【復習】日本が採用する議院内閣制を整理し、ノートにまとめる	90分
第12回	裁判員制度に関する映画を視聴する	
	【予習】最近報道された裁判についてノートにまとめる	90分
	【復習】感想を書き、指定フォルダに投稿する（800字程度）。	90分
第13回	裁判所の仕組み	
	【予習】テキストp.160～167を読む	90分
	【復習】テキストp.171「考えてみよう」に取り組み、課題提出 に投稿する	90分
第14回	裁判官の独立	
	【予習】テキストp.160～167を読む	90分
	【復習】授業で紹介した「大津事件」の事実と判決をノートにまとめる	90分
第15回	地方自治について	
	【予習】テキストp.156～157を読む	90分
	【復習】本日の授業の感想を書く。	90分

授業科目名	国際情勢			科目コード	C511-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	池田 丈佑					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許(選必) 保育士資格(選必)								
授業の概要	この授業では国際情勢を学びます。「国際情勢」というと、「海外の政治経済のことばかりで、私たちに遠い話だよな」と思いがちです。ですが、私たちが遠く感じて、向こうから勝手にやってきて、私たちの暮らしに影響を与えるものはたくさんあります。コロナや、ウクライナ戦争後の「値上げ」などは、身近な例といえるでしょう。世界の動きとつながった私たちの暮らしと、その中で生きてゆく私たち自身に必要な「世界の見方」「世界への関わり方」について、この授業では								
学習目標	1. まず、「世界の出来事は自分の出来事にもなるんだな」という実感をもつ 2. 次に、自分が気になる「世界の諸問題」が何か、探し出す 3. 最後に、その気になる「問題」について、なぜそうなのか、どうすればいいのかを、自分なりに考える								
キーワード	グローバル化、戦争、貧困、こども、ジェンダー、教育、SDGs、環境、文化の多様性								
テキスト・ 参考書等	教科書の指定はありません。なお、授業の中盤で、「指定図書」を読んで書評を書くという課題を出します。その際の「指定図書」は授業中に提示します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】現代世界の抱える諸問題について、それを把握し理解するための知識を持っている								
LO-2									
LO-3	【思考・判断】現代世界の抱える諸問題について、その特徴や本質、背景や要因が何であるかを示すことができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】国際情勢を自らに関係する事柄として扱い、積極的に現状を理解し、問題解決のために思考し行動することができる								
LO-5	【社会性・人間性】自らの人間性やキャリア形成に関係することを自覚し、他の学生や人びとと問題を共有したり行動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30	60		10			100
LO-1			15	15					30
LO-2									
LO-3			15	15					30
LO-4				15					15
LO-5				15		10			25
備考	1冊、ノートを用意して下さい。ノートには、各回の予習(毎回400字程度)と、授業の内容を主に書き込んでゆくこととなります。もちろん、国際事情に関する自学自習のために、自由に使って頂ければ完璧です。また、レポートに関しては、期末レポートの内容について、希望者へフィードバックを提供します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、導入講義（「なぜ、わざわざ国際情勢を知らなければならないのか」）	
	【予習】自分が小中高の時期に使った「社会科の教科書」を読み直す（公民、現代社会、政治経済がベストですが、地理、歴史でも結構です）	45分
	【復習】授業の内容を思い出しながら、再度「社会科の教科書」を読み直す	45分
第2回	テーマ1 戦争（人はなぜ戦うのか）	
	【予習】この1週間に起きた国際情勢のうち、「戦争」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】講義で出た問いについて考え、ノートに答えを書く	30分
第3回	テーマ1 戦争（人はどのくらい戦いを繰り返してきたのか）	
	【予習】この1週間に起きた国際情勢のうち、「戦争」に関わるものをさらにもう1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第4回	テーマ2 核兵器の拡散（人類は核で滅ぶのか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「核」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第5回	テーマ3 難民と人の強制的移動（あなたは難民を受け入れられるか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「難民」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第6回	テーマ4 テロリズム（なぜテロなんかが起きるのか）	
	【予習】この1年間に起きた国際情勢のうち、「テロ」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第7回	テーマ5 グローカルな貧困（富山は「豊か」か）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「貧困」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第8回	テーマ6 教育と子どもをめぐる問題（子どもを置き去りにしない世界をどうやって作るか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「教育」「子ども」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第9回	テーマ7 ジェンダー暴力とジェンダー格差（ジェンダーという意味で、あなたは自由か）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「病気」「健康」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第10回	テーマ8 宗教と文化の多様性（「それ無理」と思う価値観をもつ人と、あなたは共に暮らせるか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「宗教」「多様性」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分

第11回	テーマ9 災害（生き延びられる社会をどう作るか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「災害」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第12回	テーマ10 環境問題（地球環境を守るために、人類は減るべきか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「環境」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第13回	テーマ11 平和と日本国憲法（結局、憲法は変えるべきなのか）	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「憲法」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第14回	授業のまとめ ではどう解決するのか（外交、国際連合（国連））	
	【予習】この1年間に起きた国内・国際情勢のうち、「外交」「国連」に関わるものを1つとりあげて、400字程度の説明をノートに書く。	60分
	【復習】授業ノートを見返す。疑問点や関連する学びがあったら、ノートに付け足して書く。	30分
第15回	授業のまとめ ではどう解決するのか（NGO、NPO、グローバル・ガヴァナンス、ソーシャル・イノベーション）	
	【予習】この半年間に起きた国際情勢のうち、自分が最も関心あったものを選び、400字程度の説明を書く。	45分
	【復習】授業ノートを見返す。授業全体の振り返りとして、何が自分にとって最も重要な事柄だったか、その事柄のどこが問題か、問題の解決のためにどうすればよいか、をそれぞれ100字で書いてまとめる。	45分

授業科目名	自然と人間			科目コード	C514-20				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 自然科学系		担当教員名	岩坪 美兼					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校で生物基礎・生物を履修していることが望ましい。		後継科目	自然と人間					
関連科目									
資格等 取得との関連	A・B・C、3科目の中から1科目以上を選択する科目のBとして開講。 幼稚園教諭二種免許および保育士資格取得希望者の選択必修科目。								
授業の概要	植物のかたちを正しく理解し保育教材に活かすことができるとともに、日頃目にする動物についても理解を深め、身近な動物のかたちや種類について説明できるようになる。そのために、1. 身近な植物の葉・花の観察と教科書・プリントを用いた学習によって植物のかたちを学ぶ。2. 多様なかたちの葉・花の基本型を理解する。3. 果物・野菜の基本構造を理解する。4. 様々な植物を保育教材に活かす力を養う。5.								
学習目標	1. 身近に生える植物の葉、花、果実、それに野菜と果物のつくり（構造）を理解し、それらを保育活動に活かすことができること。2. 危険な植物や動物についての知識を深めて、それらから身を守る方法を保育活動のなかで実践できること。3. 動物と植物において多様性が生じるしくみとその進化的積極的意義を理解していること。4. ヒトの多様性が人類の幸せを築き上げるうえで重要であることを理解できていること。5. 多様な幼児の個性を伸ばす教育活動に学習した内容を活かす								
キーワード	身近な植物、葉のかたち、果実の構造、多様性の意義								
テキスト・ 参考書等	岩瀬徹一・大野啓一「写真で見る植物用語」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 身近に生える植物の葉のかたちや野菜・果物の構造を正確に理解していること。								
LO-2	【技能】 身近に生える植物の葉、茎、花、それに野菜・果物を保育に活かす工夫ができること。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 はじめて見る植物の葉、果実、野菜の構造の基本形を、学んだ知識に基づいて判断できること（植物園実習）。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 身の回りの植物や野菜・果実の構造と生物の多様性について興味感心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと。								
LO-5	【人間性・社会性】 生物の多様性が生じる仕組みを理解しており、ヒトに多様性（ダウン症を含む）が生じる意味、そしてヒトの多様性の人類社会における意義を理解していること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		20	10					100
LO-1	40		10						50
LO-2	10		10						20
LO-3				10					10
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	植物の葉の観察を行い、基本構造を踏まえたスケッチを提出する。基本構造の認識に誤りがある場合は、次の時間に板書で解説する。加えて関わりの深い動物や、幼児が興味を持つ動物について理解を深めるためにプリントを用いた学習も行う。16回目に、筆記による試験を行います。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明) 植物の学名、和名、種名、品種名を学習する。植物全体のかたちと葉の多様性を理解する。	
	【予習】シラバス等で授業内容を把握する。	30分
	【復習】授業の内容全体を確認する。	60分
第2回	植物の根と茎と葉の見分け方、花の構造と葉の構造を理解する(天気が良ければ学内の植物の花や葉を観察しながら理解を深める)。	
	【予習】テキストを用いて、植物のおよその構造を理解する。	30分
	【復習】植物のおよその構造を理解する。身近に生えている単葉の植物の葉の構造について理解を深める。	60分
第3回	葉の見分け方と野外での危険な動物 I。 1) 単葉から複葉への進化1: 鳥羽単葉、掌状単葉、三行脈の単葉。 2) 野外活動で危険から身を守る方法、危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)へ遭遇した際の対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト(44-57ページ)により、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】葉の多様化の基本的な仕組みを理解する。	60分
第4回	葉の見分け方と野外での危険な動物 II。 2) 単葉から複葉への進化2: 掌状単葉、掌状複葉。2) 危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)への具体的な対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト(57-61ページ)を読み、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】掌状単葉から掌状複葉への変化の規則性を理解する。	60分
第5回	葉の見分け方 1) 単葉から複葉への進化。 2) 鳥足状葉のつき方(天気が良ければ学内の植物の葉を観察しながら、学習を深める)。	
	【予習】プリントを学習して、複雑な葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】単葉から複葉への変化を理解するとともに鳥足状葉が形成される仕組みを習得する。	60分
第6回	茎・果実・葉の付き方を理解する(偽茎、互生・対生・輪生、葉縁のかたち、単葉から複葉への変化)。	
	【予習】プリントとテキストから、葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】葉の付き方と規則性を習得する。	60分
第7回	植物園で葉や実を使った工作、および葉の多様性について学習する(2コマの授業を土曜日に実施(第7回と第8回)する)。	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する。	90分
	【復習】植物園を園児が利用する際の工夫について考える。	90分
第8回	(植物園で7、8回を連続して実施)	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する(天気が良ければ学内の植物の葉(落ち葉を含む)を観察しながら、かたちの多様性、黄葉(紅葉)のしくみ、落葉と常緑の葉の構造の違いについて理解を深める)。	60分
	【復習】植物園および身近に生える植物を園児が理解できるようにする工夫について考える。	60分
第9回	植物の茎の多様性	
	【予習】テキストを読み、茎の構造を理解する。	30分
	【復習】茎の多様性を把握する。	30分
第10回	果実の構造 果実の構造を実際に観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、果実の多様性を理解する。	45分
	【復習】果実はどのような構造からなっているかを習得する。	45分

第11回	野菜の構造 野菜の構造を観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、野菜の多様性を理解する。	30分
	【復習】野菜として食べている部分は植物のどの部位かを把握する。	60分
第12回	性決定の多様性 1.性染色体をもつ生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】性染色体を持つ生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第13回	性決定の多様性 2.自然環境や社会環境により性が決まる生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】自然環境、社会環境によって性が決定したり、性が変わる生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第14回	減数分裂の異常がもたらす生物の多様性	
	【予習】減数分裂のしくみを配布プリントで学習する。	60分
	【復習】減数分裂について、その仕組みを復習する。	60分
第15回	植物の多様性とヒトの多様性	
	【予習】これまで学習した植物の葉・果実・花の多様性全般について学習する。	60分
	【復習】ヒトを含めた動物、植物に多様性が存在する意義を考える。	60分

授業科目名	英語			科目コード	C531-11				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平 シェリー・スキャンラン					
実務経験	公立中学校で教員として15年間勤務した経験を生かし、各講義で英語運用能力の育成ができるよう指導を行う。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	英語		後継科目	なし。					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	山田:保育や幼児教育の場面で使用される表現の習得に重点を置く。1年次後期に使用したテキスト Children's Garden の後半の章を取り上げる。 Scanlan : Every week students will have a different fairy tale in English. During lessons the students will work on vocabulary and grammar in the stories. They will also work on comprehension and the elements found in a fairy tale. Short								
学習目標	山田:総合的な英語力の向上を目指す。主に保育の分野で使われる表現を学ぶ。 Scanlan : Students will use all four elements of English (listening, speaking, * reading, writing) by studying a famous fairy tale each week. (*due to Covid 19 and social distancing, there will be more emphasis on reading/writing than speaking.) (学生は毎週有名なおとぎ話を勉強し、英語の4技能(聞く、話す*、読む、書く)すべてを使う。(*新型コロナ・ウ								
キーワード	保育、幼児教育の分野、おとぎ話、絵本で使われる英語の語彙、表現								
テキスト・ 参考書等	Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂)¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現を習得している。また、短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-2	【技能】短い英語の文章を書くことができる。また、簡単な英語の問いに答えることができる。								
LO-									
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】適切にコミュニケーションをはかる意欲と能力があり、授業での活動において他の学生と協力することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	50				20			100
LO-1	15	15							30
LO-2	15	15							30
LO-									
LO-4		10				10			20
LO-5		10				10			20
備考	【成績評価方法】 山田:最終試験(30%程度)、授業への参加・課題の状況[その他、A](20%程度)とする。 Scanlan : Students grades will be based on a test. (テスト(50%)に基づき、成績評価を行う。) 【グループ分けと授業運営方法】								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(1) - 7-1 Judging from pictures, 7-2 Listening Comprehension	
	【予習】 7-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	30分
	【復習】 授業で学んだことや、それに付け加えて調べたことをまとめる。	15分
第2回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(2) - 7-3 Advice for the Internship, 7-4 Conversation	
	【予習】 7-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、7-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	30分
	【復習】 予習や授業で分からなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第3回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(3) - 7-5 Reading and Listening, 7-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 7-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 授業で学んだことや、それに付け加えて調べたことをまとめる。	15分
第4回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(1) - 8-1 Judging from pictures, 8-2 Listening Comprehension, 8-3 Advice for the Internship	
	【予習】 8-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、8-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	30分
	【復習】 予習や授業で分からなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第5回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(2) - 8-4 Conversation, 8-5 Reading and Listening, 8-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 8-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、8-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 授業で学んだことや、それに付け加えて調べたことをまとめる。	15分
第6回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(1) - 9-1 Judging from pictures, 9-2 Listening Comprehension, 9-3 Advice for the Internship	
	【予習】 9-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、9-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	30分
	【復習】 予習や授業で分からなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第7回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(2) - 9-4 Conversation, 9-5 Reading and Listening, 9-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 9-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、9-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 授業で学んだことや、それに付け加えて調べたことをまとめる。	15分
第8回	Introduction to class (イントロダクション) Self Introduction (自己紹介) Overview of fairy tales (おとぎ話概観)	
	【予習】 None (なし)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第9回	Little Red Riding Hood (小さな赤ずきんちゃん) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第10回	The 3 Little Pigs (三匹の子ぶた) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分

第11回	The Boy Who Cried Wolf (オオカミが来たと叫んだ少年) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第12回	Stone Soup (石のスープ) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第13回	The Frog Prince (カエルの王子さま) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第14回	Review/Final test (復習・最終テスト)	
	【予習】 Review all the fairy tales you've learned. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	30分
	【復習】 Review all the fairy tales you've learned. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	15分
第15回	学習のまとめ 教科書 Chapter 7 Activities with Watermelons, Chapter 8 Happy Birthday, Chapter 9 Children at Play	
	【予習】 教科書 Chapter 7 Activities with Watermelons, Chapter 8 Happy Birthday, Chapter 9 Children at Play について自身で学んだことをまとめておく。	30分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 7-9 の総復習を行う。	45分

授業科目名	キャンパス&ホームステイプログラム			科目コード	X551-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	なし。					
関連科目	英語、英語、英語、総合英語、総合英語								
資格等 取得との関連	なし。								
授業の概要	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2023年度は実施しない。</p> <p>富山国際大学が開講する短期の海外研修プログラムに参加することで、本学の当授業科目の履修と見なす。本学における事前オリエンテーションクラス、現地でのホームステイ・語学研修への参加を通して、異文化に対する理解を深めると共に語学力の向上をはかる。履修登録を行い、事前オリエンテーションクラスに出席することが参加条件である。オーストラリ</p>								
学習目標	英語の基本的な語彙や会話表現を習得する。また、英語圏の歴史・文化・生活習慣に対する理解を深める。								
キーワード	英語の語彙 会話表現 歴史 文化 生活習慣								
テキスト・ 参考書等	授業で適宜指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語圏の歴史・文化・生活習慣に関する基本的な知識がある。								
LO-2	【技能】英語の基本的な語彙や会話表現を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】自分の考えを英語で表現できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】英語圏の歴史・文化・生活習慣に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】英語でコミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		10	50	20		100
LO-1			5			10	10		25
LO-2			5			10	10		25
LO-3			10		5	10			25
LO-4						10			10
LO-5					5	10			15
備考	「その他A」は現地における研修への取組み、「その他B」は事前事後指導への取組みとする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、自己紹介	
	【予習】自己紹介で話す内容を考えておく。また、自分が言いたいことを英語でどう表現するか、必要に応じて英和・和英辞典等を使って調べる。	40分
	【復習】他の学生の自己紹介を聞いて学んだ表現をノートに書いて整理する。	20分
第2回	海外旅行で役立つ英語（1） 英語圏の国々の歴史と文化（1）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第3回	海外旅行で役立つ英語（2） 英語圏の国々の歴史と文化（2）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第4回	海外旅行で役立つ英語（3） 英語圏の国々の歴史と文化（3）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第5回	ホームステイの英会話（1） 英語圏の国々の生活習慣（1）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第6回	ホームステイの英会話（2） 英語圏の国々の生活習慣（2）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第7回	ホームステイの英会話（3） 英語圏の国々の生活習慣（3）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第8回	ホームステイの英会話（4） 英語圏の国々の生活習慣（4）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第9回	海外渡航時の危機管理（1）：健康管理	
	【予習】最近受けた健康診断の結果を再確認する。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。	40分
第10回	海外渡航時の危機管理（2）：学生の基本リスク対策	
	【予習】日本人の海外旅行者、留学生が遭遇したトラブルについて調べておく。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。また、自分ならどうするか考えてみる。	40分

第11回	海外渡航時の危機管理（3）：深刻なトラブルに会った時の対応	
	【予習】日本人の海外旅行者、留学生が遭遇したトラブルについて調べておく。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。また、自分ならどうするか考えてみる。	40分
第12回	現地での交流会の出し物の練習（1）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第13回	現地での交流会の出し物の練習（2）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第14回	現地での交流会の出し物の練習（3）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第15回	事後報告会、期末レポート作成	
	【予習】報告会の準備をする。また、期末レポートを作成する。	160分
	【復習】報告会のフィードバックを行う。また、必要に応じて期末レポートを修正する。	40分